京城日報
(明治卅九年九月十八日第三種郵便物認可)
大正五年五月十六日 THE KEIJO NIPPO 第三千百十九號 (一)
十五日夕刊
定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

對支抗議の提出

日置公使は一、日本兵銃殺二、日本商人慘殺三、濟南日本武官邸に爆彈を投下し軍用電信線を切斷したること四、列車に發砲五、日本人家屋侵入六、守備隊警戒の妨害等の件に對し強硬なる抗議を提出したり(北京特電)

英公使の對米公使抗議

北京來電に據れば英國公使は駐支米國公使に對し支那政府の兌換停止に關し抗議する所ありたり在北京外國人等にも亦支那政府財政監督の必要を論ずるもの旺なりと(東京電報)

列國支那財政監督說

北京來電に據れば國務院令を以て支那政府が中國交通兩銀行兌換券の引換を停止せるは表面の理由として取り附急なるが爲と稱するも裏面には何等かの魂膽伏在せる如く上海及び兩銀行機關所在各地方に波及し大恐慌を惹起しつゝあり之が爲め支那政府の暴擧を抑制する一法として列國に於て支那の財政を監督すべしとの說起れりと(東京電報)

南京會議行惱か

馮國璋等の提唱せる所謂南京會議なるものは純然たる各省の輿論を表示するものに非ず馮等は畢竟北方の傀儡たるに過ずとの論有力となり行惱の狀を呈するに至れりと傳へらる(東京電報)

南方代表者の不參加

南京各省代表會議は來る十七日に決定したるも南方代表者は今は會議の時機に非ずとし參加せずと(東京電報)

露國軍用靴の大注文

露國政府は這回軍用靴價格三千萬圓を東京陸軍被服廠に宛て注文したり(東京電報)

獨土同盟條約の締結

獨逸外務次官は帝國議會に於て獨土同盟條約最近締結せられたる旨發表したり(倫敦電報)

獨逸內相辭職

獨逸公報に曰く內務大臣デルブリユック博士は十三日辭職したり(倫敦電報)

▲內相糧相新任

伯林半官報の報道に曰くレーデルン伯は內務大臣に任命ぜられネルトリング伯糧食大臣となれり

前內相辭任理由

デルブリユック博士辭職の表面の理由は糖尿病なりとのことなれども察するに辭任は同博士が此度の糧食省の新設を以て內務行政に對する批難なりと解し之を憤懣せる結果ならんと(倫敦電報)

南阿貿易有望

南阿視察員の調査報告により將來南阿貿易の最も有望なること確實となれり(東京電報)

郵船革新案

日本郵船會社大株主の一團は會社の根本的革新案として重役選任に關する件を總會に提出す(東京電報)

瀆職事件公判

高松地方裁判所に於ける白川板倉等に關する瀆職事件公判は十五日より再開約一週間にて終了を告ぐべしと(大阪電報)

大邱協成校見學團

大邱協成學校生徒四十二名十五日午前十時三十五分草梁驛下車市中を視察見學し午後十一時發列車にて歸校の筈なり(釜山特電)

稅關長會議(第一日)

稅關長會議第一日は十五日午前九時より總督府第二會議室に開催、寺內總督、石塚農商工部長官、古海警務總長、兒玉總務局長以下關係各課長參列し荒井長官統裁の下に直ちに日程に入り諮問事項の答申ありて正午閉會したり

司法官會同

總督府にては既報の如く鮮內司法官を召集し二十二日より二十七日まで六日間第二會議室に司法官會同を開催することゝなれり、其日程如左

二十二日 午前諮問事項、午後協議事項
二十三日 午前諮問事項、午後協議事項
二十四日 午前諮問事項、午後協議事項
二十五日 午前提出意見、午後協議事項
二十六日 午前協議事項、午後協議事項
二十七日 總督訓示及び指示

而して議場は國分司法部長官之を整理し開議時間は毎日午前九時より午後四時までなり

軍司令官出發

駐箚軍司令官井口陸軍中將は十五日午前八時四十分龍山發南鮮視察の途に上れり來月五日歸任の豫定にて安藤參謀、香山主計正、古城、野津兩副官、長谷川軍醫隨行せり

竹內豫備中將入京

第十九師團竹內高級副官豫備陸軍中將竹內正策氏は山東、滿洲の各地視察の上十四日夜入京龍山なる高級副官々舍に入れり數日間滯在の豫定也

吉原總裁と隨員

吉原東拓總裁は同社株主總會參列の爲め愈々十五日午後七時五十分南大門驛發東上の途に就く隨員は二宮秘書役風呂中參事の兩氏なり尙ほ一行は途中大阪に立寄るべしと

村田理事歸京

平安南北道及び黃海道方面に出張中なりし村田東拓金融部長は十五日午後七時三十分歸京せり

持地局長全快

東萊に轉地療養中なりし土木局長持地六三郞氏は宿痾全快、十四日夜南大門驛着汽車にて歸京せるが十六日より登廳の筈なり

峯尾出納役辭職

京城學校組合出納役たりし峯尾三郞氏は日中に辭表を提出したりしが愈々辭任を許可さるゝ筈なり同氏の後任は任命せず北村府事務官をして組合出納役を兼ねしむる筈なり

鮮銀店長會議

朝鮮銀行にては豫報の如く十五日より會議室に支店出張所長及び同行系統に屬する浦鹽松田銀行部支配人の會議を開催せしが各店長(釜山會寧開原四平街店長缺席)列席勝田總裁水越木村兩理事山田高瀨兩局長大原島雄兩秘書役陪席各課長及び高級行員會議を傍聽せり而して第一日は午前中勝田總裁の訓示午後は諮問事項に對する各店長の答申あり四時すぎ閉會したり

朝鮮鑛山會社設立計畫の內容

四月一日出願に係る重石、水鉛鑛採掘出願者等の發起になる朝鮮鑛山株式會社は其後協議の結果十三日夜發起人會を開き左の事項を決議し十四日夜は京城ホテルに新聞通信社員を招待し其の披露をなし席上小林藤右衞門氏の挨拶釋尾旭邦氏の謝辭あり主客胸襟を開いて會社に關する談議をなし九時半散會せり

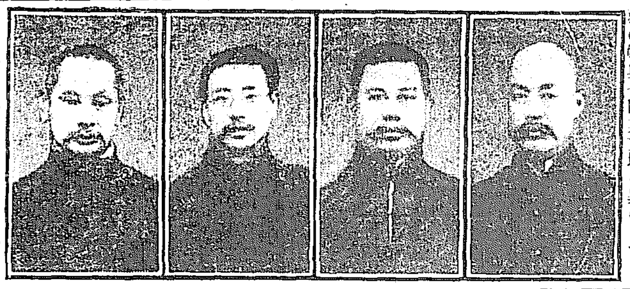
發起人會決議事項

一、會社の資本は金一百萬圓、一株の金額五十圓株式の總數二萬株とする事
二、會社の名稱は朝鮮鑛山株式會社とし本店を京城に置く事
三、發起人の責任引受株は五千株とし各自平等に引受くる事
四、一萬五千株は賛同各自の提供したる出願件數に對し處分する事
五、若し賛同者中拔分數引受なき分は發起人會に於て適當に處分すること
六、發起人及び賛成者の出願鑛區に對する權利を無償にて提供し之に必要なる委任狀及び手續書類を提出する事
但提出鑛區の立會に要したる實費は會社に於て支拂ふ
七、各人の引受株に對しては總て現金の拂込をなす事
八、提供の各鑛區に關する取扱は發起人に於て一切處理する事
九、創立委員十六名を指定し創立事務一切を委任する事
十、會社の設立に要すべき創立費用は金五千圓以內とする事
十一、發起人は特別の利益又は報酬を受けざること

朝鮮煙草總會

朝鮮煙草會社にては二十二日大阪商業會議所に於て臨時總會を開き定款中營業區域の目的項中の「朝鮮にて」とあるを事實法に牴觸せざる範圍に變更する件を附議すべし因みに過般の定時總會に於て之を附議する筈なりしも當日は株主數に達せざるより斯く臨時總會を開くに至りしと(大阪)

兩廣問題の人



離合集散は騷亂時代の常なれども兄弟敵味方と爲り婿舅相鬩ぐ等支那の現時に於ては少からず湯薌銘の袁派に屬し湯化龍の南方領袖たる如き此の類なるが龍覲光と陸榮廷の婿舅一時其立場を異にしたる龍濟光岑春煊の師弟一度水火の敵と爲りしが如きも亦これなり寫眞向つて右より龍覲光(前廣東鎮守使、雲南人、五十六歲)龍濟光(前廣東都督、雲南人、四十七歲)張鳴岐(前廣西巡按使、山東人、四十歲)陸榮廷(前廣西都督、廣西人、五十二歲)

价川輕鐵開通

京義線新安州价川間十八哩四分の輕鐵は十五日より營業開始すると爲り鮮鐵との貨物連絡を開始せり線路は安州(新安州間三哩八分安州价川間十四哩六分)を經て通過せり

久原の甲山經營

久原家にては甲山銅山買收の調印と共に各方面の處理を急ぎつゝありしが既に登錄其他買收に關する一切の手續を了したれば一兩日中に人を派して諸般の引繼に着手す可く且つ同鑛山の主任も既に決定し不日着任の筈なるが同家にては晝夜兼行其の設備に努め十一月中には採鑛と共に精煉をも開始せん計畫なりと

下水溝問題 本年愈々實現乎

京城府が一百萬圓の府債を起して一大下水溝の設計を爲さんとするの議は既に數年來の懸案にして昨年此問題の外部に現れんとするに先立ち本紙に報道する所あり其後同問題は單に總督府土木局に於て設計を繼續されたりしに過ぎざりしが一方市街の發達は日に月に著しく御苑道、黃金町又最近には昌德宮正門通より黃金町に通ずる各一等道路の開通さるゝあり其他各二三等道路の修理連絡と共に其附近に人家の築造激增し遷延すればする丈け下水溝修築は困難を加ふる次第なればとて京城府は本年度內に於て案を纏め公然調查の歩を進むる方針にて目下其下準備中なり

新道路開通期

敦化門前より清溪川を經て鐘路に至る新道路の工事中敦化門前より清溪川までは四年度中に於て土地の買收を了し昨今家屋の取り除け中なるが清溪川以南は六月早々買收に着手し、本年度中には家屋の取り除けは勿論假地均工事を了へて全部開通の運びに至らしむ可しと

共進會報告書

總督府の編纂に係る始政五年記念朝鮮物產共進會報告書は第一卷、第二卷、第三卷とも既に出來せるが第一卷は目下印刷中なれば其完成を待ち不日發兌す可く該報告書は第一卷に於て共進會全般に亘る記事を載せ第二卷は審査報告を蒐めたるものにて第三卷は寫眞帖也

研修會休會

總督府醫院研修會は諸種の會議輻輳の爲め五六の兩月間休會することゝなれり

仁川米穀檢査員の視察

仁川米穀協會米穀檢查員鈴木佐次郞氏は今回各道米穀檢查地の實況調查の爲め約十五日間の豫定を以て十五日午前七時仁川發列車にて鎮南浦に向け出發せり

清津

▲最近金融狀況 清津地方の金融は四月解氷期に入りて清會沿線鐵道工事の進捗に伴ひ景氣快復せると月初以來浦鹽鰊の出廻り頗る旺盛にして加之鮮明太の如き水產物依然盛況を呈し其他豆油、小豆、牛皮等の出廻り相當持續せる爲め資金の需要俄に激增し農銀支店貸出額の如き二十八萬圓に達し預金の受拂に於て十五萬圓を增加し金銀出納の如き六十七萬圓の激增を示し金融著しく活況を呈せり而して五月に入りては輸移出品の出廻りは幾分減少したるが如きも工事の進捗に伴れ尙ほ相當資金の需要を喚起せり▲露領輸出生牛 國境龍岷牛市場より露領へ輸出生牛は從來夏季に於ては生肉腐敗の虞れあるため生牛の儘浦鹽へ搬出せられ有る爲め龍岷對岸露領隊嶂檢疫に於て三週間繫留檢疫を行ひたる上陸路ポセット灣岸を迂廻し香山洞、煙秋を經てポセットに至り同地より汽船にて浦鹽へ仕向けられたるが本年より檢疫留置期間を三日に短縮し且つ隊嶂より直にポセット對岸ソルアーデに出渡船にてポセットに渡り汽船にて浦鹽へ搬送する事に變更せられたり而してツルマーデはポセット灣口ポセット對岸の地點に在り里程隊嶂より六里にして從來の徑路に比して約二里近く又た繫留期間短縮したるより牛商人に取りては非常の至便となり北鮮牛輸出上頗る好都合となれり▲清會線工事 清會線鐵道工事三工區四月分の進捗工程は第一工區總體に於て六歩、第二工區總體に於て七歩七厘、第三工區總體に於て六歩五厘にして全般に於て昨年の水災補修工事增加の爲めに共進捗歩合の却て從前より減少せる部分少なからずと▲浦鹽渡航者數 本年一月より四月迄の間に清津警察署に於て下附せる浦鹽渡航免狀數は一千二百五十五人にして之を月別に見れば一月五十一人、二月四十九人三月九百十八人四月二百三十七人にして其渡航目的は鰊買出が大部分を占め三月中に於ては實に八百七十人に達せり鰊買出に就ては一般出稼勞働者にして目下鮮人の出稼期なるを以て尙ほ渡航者盛んなり▲四月輸入浦鹽鰊 四月中清津港輸入浦鹽鰊の數量は生鰊一千百十萬九千餘尾其價格六萬四千七百二十六圓鹽鰊六十七萬三千餘尾價格四千二百十四圓計一千百八十三萬三千尾價格六萬八千九百四十圓にして之を前年同期の輸入生鰊五百卅五萬六千尾價格二萬九千三百六圓鹽鰊二百六十六萬五千尾價格一萬五千八百十圓計七百九十二萬一千餘尾價額四萬五千百十六圓に比すれば約五割の激增を示し居れり

西湖

▲客月の移出入 客月中西湖津に於る貿易狀況を聞くに移出四萬二千七百圓移入五萬四千圓にして昨年同期に比し移出は三萬三千二百六十七圓の減額移入に於て三萬五千九百二十圓の減退を示せり即ち客月中は移出重要品たる大小豆米の一段落を告げたると時局に伴ふ牛皮の不況と一方漸次農繁期に入れるに原因す從つて一般購買力減退し前月に比し貿易品の荷動き捗々しからず就中麥の如きは相場不振の爲め取引皆無の姿に終り構寸食鹽等は市價昂騰の結果入荷減少し中旬頃より牛皮大豆等氣配稍恢復せるに因り之等移出品を賑はしたるに過ぎず極めて不況の裡に經過したりと

元山

▲鯛鯖漁有望 元山近海に於ては愈々時季の切迫したる鯛及び鯖の漁業を目的にて內地漁業者の通漁するもの逐日增加し目下繰網は十六統に達し船數約百隻乘込人員並に本漁業に關係せるもの千數百人を算すに至れり尙附近鮮人の遂漁網八十統漁船二百四十隻人員千七百を加ふれば合計漁網九十六統漁船三百四十隻人員三千數百人となり而も今後本漁撈に從事するものゝ增加を豫想さるゝ有樣にて本年春期に於ける鯛鯖漁は稀有の盛況を呈するに至るべしと▲今泉檢查官 去る八日夕著列車にて來元同夜出帆の貨物海丸にて江原道溫井里に向ひたる會計檢查院檢查官今泉國太郞氏は其後溫井里鐵道ホテル金剛山道路等豫定の檢查を終へ十四日再び來元したるが約一週間滯在の豫定にて元山に於ける諸官廳の會計檢查を行ふ筈▲驛到着貨物 客月中元山驛に到著したる貨物は滿洲粟の激減と工業用材料の絕無なりしに原因し前年同期に比し少なからぬ減少を來せり今其の客月中に於ける到著貨物總量を見るに三千七百四十二噸軍馬百八十頭なり而して昨年同期に於ては到著總量五千二十五噸なりしと

鎮海

▲戰勝記念 鎮海要港部は五月二十七日の海軍記念日に於て開廳式を擧行すべし不幸にされしが同日は戰勝記念日にて戰死者も多數に上れる日なるが故に戰勝を祝すると共に弔慰の念を抱て記念すべきものにして要港開廳式を當日に擧げられし先例なきのみか開廳式は莊嚴に盛禁に御名代の宮其外貴顯大官の臨席を仰ぐべき例なるが故に本年內には其擧式は不可能なるべく從て二十七日は記念日と共に同日までに落成すべき將校會議所の竣工式を併せ擧行せらるゝ位に止まるべしと▲第三艦隊 第三艦隊旗艦鹿島、香取、肥前、敦島の四艦は十五日を以て鎮海灣に入り敎育訓練作業に從事すべく廿七日の海軍記念日は洞陸地近く投錨し昨年日露戰後當時の東郷提督旗艦三笠にて記念日を擧行したる如く盛んなる式を擧ぐべしと▲大製紙場建設說 神戶の鈴木商會が昌原郡龜山面に於て土地三萬八千餘坪を買入れ茲に大規模の下に製紙場を建設すべしとは一二箇月前より頻りに噂され爲めに一時は馬山の人氣を昂騰せしめたる程なりしが同地は水量の關係上鮮農の被害少からずとして或は鎮海市附近に建設せらるゝに至るべしとの說あり未だ確定に至らざるも來る六月末頃までには發表を見るならんと聞く

人事消息

▲中村長五郎氏(鎮南浦中村組總支配人) 十五日夜鎮南浦へ出發の豫定
▲石橋友吉氏(長崎縣議士) 十四日夜山本旅館へ(石橋爲之助氏入京は誤り)
▲吉永國久氏(縣議士) 十四日夜入京不知火旅館へ
▲佐々木清綱氏(同) 十五日夜入京不知火旅館へ投宿の豫定
▲神野金之助氏(明治銀行頭取) 入京中の處十四日夜退京
▲神野三郎氏(實業家) 同上
▲西崎鶴太郎氏(鎮南浦商業會議所會頭) 同上
▲中村清七郎氏(鎮南浦實業家) 入京中の處十五日朝退京
▲ナブトン氏(米人工學家) 十四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲アレン氏(同) 同上
▲田中三雄氏(總督府試補) 十五日着任
▲大島良士氏(同上) 同上
▲陸江源次郎氏 東上中の處十四日歸京
▲早川二等軍醫正(龍兵司令部附) 家族同伴十三日夜新任地鹿島衞戍病院に向け出發
▲玉木工兵少佐(新任釜山運輸支部長) 十五日朝着任
▲矢野盛二郎氏(釜山稅關長) 十四日夜入京

獨軍の攻擊を擊退す

十三日ヴエルダン方面に於ける獨軍は一時休養しつゝあるもの如し十一日敵の行ひたる最終の努力及び小規模なる攻擊は容易に擊退せられたり十二日ドーモン要塞の東南に於ける獨軍の强力なる攻擊は接戰銃劍突擊擲彈戰等の手段に據りて擊退せられたり(巴里電報)

佛軍の有利なる進出

ハツクールの東南に於ける部分的攻勢に依り佛軍は二八七高地の塹壕を破壞したるが獨軍陣地中の一部は該塹壕に依りて死命を制せられつゝあり佛軍はエーネに沿ひてマランフールに向ひ進軍せるが之に依りハラクールの村落に達せる以前に既に半圓を形勢せり佛軍の此の進出は獨軍の三〇四高地攻擊をして益々困難ならしめ且二六五高地の敵陣地を威嚇するならん(巴里電報)

サ號擊沈潜艇司令官 懲罰の如何を確む

華盛頓來電に據れば國務卿ランシング氏は駐獨米國大使ゼラード氏に對しサセツクス號を擊沈したる獨逸潜航艇司令官が如何なる懲罰に處せられたるかを非公式に確かむべき旨を命じたり(倫敦電報)

離宮敷地は未決定

―行幸ありて朝鮮の政治を親はすに便利なる土地―

石原宮内次官の談

朝鮮離宮建設地の視察を了へて歸京せる石原宮内次官は往訪の記者に語る「朝鮮に離宮を建設するの議は既に數年前より提案せられ居りて漸く此程に至り之が實現を見るに至れるが離宮

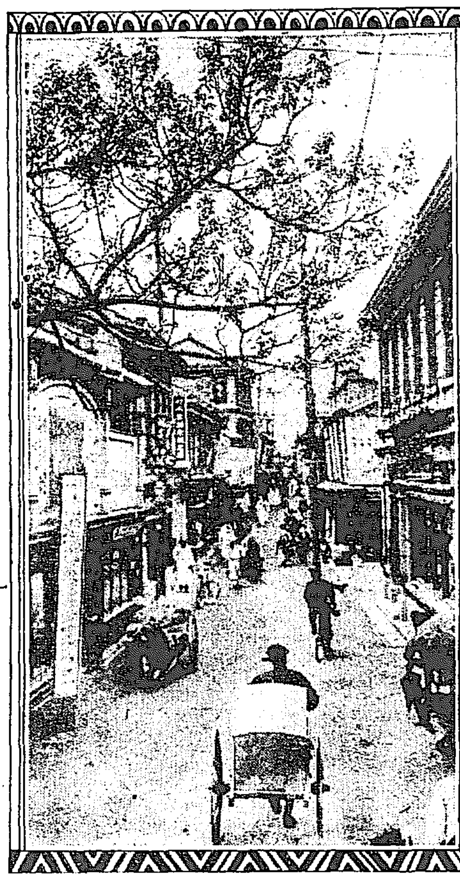
▲建設の目的 は主上が新領土に於ける諸般の政治を親しく臠はせらるゝの必要あるを以て時々同地に行幸相成る爲めと又一面に於て新附の民に好き感情を起さしめ以て新領土の統治をして圓滿ならしめんと欲するに外ならずされば離宮建設地は風景の如何も勿論重要なる條件たるを失はずと雖も如上の目的に對しては敷地

▲選定の方針 も風景のみに重きを置かざるは言ふ迄もなし今回視察せるは京城、龍山及び平壤の三箇所にして未だ何れとも決定し居らざれども以上三地附近と見れば間違ひなかるべし平壤は大同江畔にありて眼下に汪洋たる大江を下瞰し風景雄大、申分なきも惜むべきは首都京城を距る餘り遠きにあり

▲龍山は將來 京城と同一市街となる運命にあり而かも風致よく加ふるに交通の便物資の供給極めて至便なり又京城は風致前二者に及ばざるも政治を總はし給ふには便利なる長所あり最初は一箇所と爲し置けど外國貴賓等が將來頻作利用方面より來朝され朝鮮に一箇所位の

▲御旅館必要 とならば更に一箇所位は設置せらるゝに至らんやも知れず要するに敷地の選定と共に豫算の關係もあり愈々確定までには研究調査に猶ほ多少の日支を要すべし尙建築に就ては朝鮮風を加味して設計するに至るべきが御用材は矢張り内地より送るの要あるべし、朝鮮にても鴨綠江の水源地方は潤澤なる木材ありて常に伐採しつゝあるも多くは松材にして恐らく良材の全部を供給すること能はざるべし」（東京）

桐の花



遠距離飛行を試みん

海軍航空隊卒業飛行は廿五日

十一日を以て豫備飛行を終りたる海軍航空隊第六期練習將校室井、荒木、大西、山口、小路、坂本の六中尉及び加藤、栗野兩機關中尉の卒業飛行は愈よ來る二十五日敢行するに決したるが其航路は未定なり因に第五期生たる淺田、八島、後藤、和田、別府の各中尉は右六期生卒業飛行の前後に於て清水港に遠距離飛行を試むる計畫なりと（横須賀）

自動車河中に轉落す

十三日午後二時頃京春間往來の自動車春川を發し京城に向ふ途中春川郡の漢江上流に差蒐りしより乘客全部を下車せしめ車臺を渡船に移さんとせし際河岸より船に渡せる厚板外れ自動車は凄じき水煙を揚げ十餘尺の水深を有する河中に轉落したるより大騷ぎとなり運轉手は大聲を發して附近の鮮民約七十名を驅り集め水中の自動車に大綱を十重二十重に捲き附けて前後五六時間を費し漸くズブ濡になれる約四千斤の大車臺を引揚げしが幸ひ故障なかりしを以て疾走して京城に向ひ夜半すぎ歸著せりと尙ほ右自動車には春川に出張せる遠山漢農支配人も乘り込み居たりと

獨逸の暴民蜂起

食糧品の缺乏

ゼネバ來電に依れば先週土曜日獨逸マンハイムに於て食糧品缺乏の爲め暴民蜂起し形勢頗る重大となり死傷者三百名を出すに至れり（紐育電報）

滿洲大雪

人民は凶年の兆と稱す

吉林は數日來氣溫著しく降下し積雪五寸餘に及び城内外は一面の銀世界となる一般人民は之を凶年の兆なりとして訛言蜚語盛に行はれ同地一帶の人心動搖しつゝあり（大連）

墜落して即死

十四日午後二時四十分頃京城獎忠壇外なる東四軒町の小川に架設しある石橋より墜落し大石にて頭部を粉碎して即死を遂げたるものありとの急報に接し本町署より係員警察醫出張檢視せしに同人は鍾路通五丁目崔元賀（四八）といふものにて同日獎忠壇の園遊會に飮酒泥醉の結果同所を通行中誤つて墜落したるものと判明し屍體は家族へ引渡せり

同時刻に出火

▽貫鐵洞と三阪通り 十四日午後八時過京城貫鐵洞藥種商李承烈方溫突の焚口より發火したるを常備消防出動消止めたり又同時刻頃三阪通八十九番地の空家溫突より發火したるを以て南大門詰所の常備消防出動溫突一間を燒失したるのみにて消止む

重罪に處せられん

堀少佐殺害事件

軍艦伊吹水雷長堀少佐殺害事件は吳軍法會議諸澤主理の係にて取調べ中なるが加害者宮田二等兵曹は吳監獄未決監に囚禁鐵柵を隔てゝ數日間取調べを續行し更に宮田の下宿に就き最近の文書を押收し一應の調査を了せしに就き諸澤主理は錄事を伴れ以前加害者の乘艦攝津に就き取調べを爲し兇行の模樣は狂人としては受取り難き點あり攝津にて調査の上或は重く處斷さるべしと（吳）

赤十字社員一行

赤十字社總會の爲め東上中なりし朝鮮赤十字社員一行は十五日朝高麗丸にて釜山著十時三十分發列車にて北行せり（釜山特電）

朝鮮の女工

内地の女よりも好成績

内地では女工が大拂底 朝鮮へ女工募集に來る

昨今大阪の各紡績會社では女工が不足なので大弱りの體である、之れは敢て紡績會社のみではなく何れの工場でも全く其のやうであるが殊に紡績會社が甚だしいやうである

▽女工不足 の原因とも云ふべきは兎に角近頃は各地方の田舍に迄種々の會社や工場が出來たのと最一つは紡績女工の給金が比較的他の賃仕事よりも安いからである、大阪には東洋紡績三軒家工場をはじめとして同四貫島工場、福島工場、鐘紡支店、尼紡津守工場、同福島工場、鐘紡中島支店、毛斯綸、攝津紡績なんど何れも一工場で三千人以上の女工を使用してゐるが昨今は

▽大沸底の ために各會社が競爭的に大募集をなし爭奪をはじめてゐる、尤も各會社とも斯ういふ有樣だから募集員は各々中國四國、九州地方など募集地に出張し募集に力めてゐるが其れでも紡績女工といふと志望者が皆目ないさうである、斯樣な惡い結果を見てゐるので毛斯綸や福島なんか一部の工場では從來最初

▽一日一八 十六錢の給金だつたものが此月の始めから二十錢にまで値上げをしてゐる夫れでもまだ志望者がないとは各紡績會社の將來が思ひ遣られる、また攝津紡績では此の前朝鮮から四十人ばかりの朝鮮少女を連れて歸つて女工に使つて見たが何うも成績は内地の女よりも好い、第一如何なる勞働にも堪へ得るといふのが朝鮮女の特徵である相で現在使用してゐる

▽朝鮮女の 中には一日一圓位の割に收入あるのもある、斯樣な具合であるから同會社では昨今女工拂底の際尙ほ此の朝鮮女を募集しようと目下募集員は北鮮地方に出張してゐるが今回は百五六十名程を採用したいとのとである（大阪）

聯合稽古

太刀山部屋の大賑ひ

十二日の朝西方聯合稽古の第一日が太刀山の部屋で行はれる御大太刀山が七時に稽古場へ出た頃には已に鳳、伊勢、朝潮、大蛇、浦、大鳴門、石山、玉手、土州、寒玉、兩島、紅葉川、鳴戸洋などが來り會し見物席にはまた各力士

▽後援會の面々 が押かけて素晴らしい勢ひ幹事は机を控へて居る太刀山は一同を見渡して「黑潮が來て居た」「誰が何時に來た」「誰が何番申合つた」など一々勤怠を記入して居る「黑潮は何うした」と一々注意をして居る有樣、常に斯ういふ具合にやつて居れば決して東方に退けは取らない筈だ、土俵ではモウ劇しい申合ひが始まつて、西方新進中の劇麟兒新十兩の大潮は、石山、鳴門洋、敷島、寒玉手等の幕内連を始め十兩幕下の

▽新進八九人を 續けざまに十五六番も總ざらいにして大に有望振りを發揮して、押しも寄りもすれば蹴手繰もする、或は突張り、或は吊る叩く、投げを打つと云ふ千變萬化の取口に見物をアッと云はせたが太刀山も「早くこゝらを仕立てゝ東の若手連に對抗させたいものです」と云つて居た幕内の

▽申合は卅番も あつたが其中から十番許り紹介して見ると玉手に浦の濱は右四ツ外掛蹴込んで玉手の勝、浦と鳴戸洋は左四ツ寄切つて浦の勝、浦に大蛇は突合ひ左四ツ寄切つて大蛇の勝、大鳴門に大蛇は劇しく突合い叩込んで大蛇の勝、鳴門洋は出鼻を叩き込んで大蛇の勝、伊勢の濱に大蛇は左四ツ寄倒して大蛇の勝、鳳に浦の濱は左四ツ浦劇しく寄り解けて突合ひ突出して鳳の勝、伊勢に鳳は左四ツ伊勢の寄るを上手投極つて鳳の勝、鳳に大蛇は左四ツ寄切つて鳳の勝

▽伊勢に大鳴門 右四ツ吊身に寄切つて伊勢の勝、石山に伊勢は双差一氣に押切つて石山の勝、太刀山は石山を叩込み、大鳴門を押切り浦の濱を極め出し七八人を手玉に取つて鳳、大蛇、伊勢、朝潮に胸を出して流石に瀧の如く流るゝ汗を取的に竹箆で掻き落させながら象のやうな鼻息を吐いて居た、朝潮に大蛇は左四ツ、朝ゲン〳〵に行くを大蛇寄して寄切つたが此日の申合では大蛇が

▽最も成績が好 かつた、併し盛んに叩き込みを用ゐたのは勝つても餘り感心が出來ぬ、東方の力士は大分大蛇の叩き込みを恐れたから本場所では反つて不利を招ぎはせぬだらうか、石山も却々元氣で今度も働けるだらう、伊勢は大に元氣を恢復して四ッに成つては却々强いが引張込む角力だけに押されては甚だ惡いやうだ

五月場所大相撲懸賞

五月場所大相撲は來る十八日開場に付き左の勝負豫想を募集す

九州山（對馬洋 大錦（綾川 栃木山

伊勢濱（鳳 朝潮（大鳴門 大蛇潟

宇都宮（兩國 釋迦嶽（岩木山 稻葉嶽

玉手山（浦の濱 石山（紅葉川 明

右十組の取組をはがきに認め勝力士の方に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し左の賞品を呈し但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中顏合せなき時は其れを除去して計算す▲締切は五月十八日の消印あるもの▲はがきの表面には京城日報社角力懸賞係と記す事

一等	一人	銀側懷中時計	一個
二等	二人	上等反物	二反
三等	三人	上等置時計	三個
四等	十五人	上等卷煙草	一ボール宛
五等	三十人	福袋	一個宛

轉居 今般南山町貳丁目貳拾參番地へ轉居仕候 須々木幸次郎

◎開城と常備消防 開城にては是迄常備消防と稱するものなく纔かに冬季のみ若干の人員を雇入りて消防に當らせゐたりしが今回警察署長其他有力なる官民の斡旋に依りて常備消防隊の組織を見るに至り十六日午前九時より是が創立祝賀を兼ね發手消防演習を同地に於て擧行の筈にて警務部よりも係員臨席すべしと

◎公金横領事件 黄海道信川郡山川面北川面……にて此程審理之結果懲役一年に處せられたるが同人はのを不服とし……某方にて本町北川某の所有に係る自轉車一臺……時頃青島臺西鎭居住隋外康（三）は庭……

◎手癖の惡い小女 長崎縣北……に盜印せんとしたる……

本年式 流行形 パナマ帽子投賣 ◎帽子の安賣にて有名な大阪市南久寶寺町心齋橋筋南入ル堀田商店にては今回一層の大奮發にて千個限り◎自由に折疊みの出來る上等パナマ帽子を一圓六十錢又は一圓廿錢と云ふ他店で出來ぬ◎實に美の優しい東亞パナマ大投賣を始めたるが非常の賣行にて各地方よりも多數注文あり望の方は此の二度と無き投賣中に至急葉書に頭の廻り寸法を書添へ注文せば申込順にて代金引換小包送料實費で送る

男女簿記生徒募集 六ケ月ノ修業ニテ官衙銀行會社鐵道商店等ノ事務員タルベキ實力ヲ養成シ卒業後ハ確實ニ就職紹介ス規則要二錢 京城南大門通五丁目八三 京城簿記專修舘

肺病良劑 金氏煎 本劑は從來のクレヲソート又はグアヤコール系統以外獨特の新製……日本製藥研究會 東京市下谷區上根岸町

京城永樂町一丁目（陳列館前） 内科 小兒科 村上病院 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 松下三雄 電話六二三番

胃病新藥 マーゲン 胃病快治法（無代進呈） 約特店 京城南大門通二 新井藥房

數ある中をM印は特に撰ばれて長き迄も御買上の光榮を得たる最優良品と御記憶を願ます 賣行盛にて倍々發展 Mゴム印 三田土ゴム製造合名會社製造 發賣元 大阪唐物町四 飯田商店

鑛業用水車金物 薩摩式碎鑛器具 スタンプ杵先臼底鐵金物 水銀燒分器乳鉢並に搖鉢 鹿兒島縣川内 新原鍋屋

品質卓絶中味豐富 優等清酒 金露 攝津灘魚崎 釀造元 大塚釀造所 各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候 京城南大門通二丁目 發賣元 大塚京城支店 電話四〇一番 振替口座五七〇番

内科 小兒科 京城本町二丁目（元拓殖會社向側） 芙蓉醫院 醫學士 森定吉 電話一二六三番

エンパイヤ號 屢々高貴の御買上を蒙りたる光榮ある……最高級車 御大典記念特製品 エンパイヤ號自轉車（名古屋岡本製作所製品） 品質優良二大製品 純英國製 鐘馗タイヤー 日本製最優等品 カクダイタイヤー 發賣元 直輸入商 鈴鹿商店自轉車部 京都本店 朝鮮總代理店 朝鮮京城明治町二丁目 瀧川銃砲自轉車店 電話三〇二番

運命主幹 田中茂公著 菊版五百三十頁 布製金文字製本 住宅運命大觀 運命一千部無代進呈 はがき申込あれ ◎著者田中茂公は運命の研究を以て生命とし今日に至るまで發刊したる著述は◎家庭と運命觀◎禪與療養◎移轉運命觀◎開運錄◎毎月運命……◎住宅運命は住宅の相を詳説し……◎本書目次◎緒言◎住宅と意思◎住宅と常識◎住宅と陰陽の方則◎中心論◎地相住宅中心調和◎土藏の位置◎附屬物の位置◎實例の設計圖（乃木大將住宅、武田氏、淺田氏の住宅其他寫眞及び製圖評論が多數に掲載）◎外務省と其運命◎早稻田大學と女子大學◎岩倉家の運命◎公家の運命 ◎本書を一讀せば住宅の良否は明かに認識し得るは勿論……◎定價一部金貳圓五拾錢 ◎特價……金參圓……電話本局壹一六五番 振替口座大阪一六二六〇番 發行所 大阪市東區……不老禪室 特約 登美屋 ……家村

日出 五時二十四分 日入 七時三十六分

二百餘名より徴收したる面費六十一圓四十三錢保管中十三圓一錢を數回に亙り横領費消したる事件は海州法[illegible]

[illegible]駿餉託郡小島町生れ當時京城本町五丁目居古鐵行商人北川歳雄(二〇)は四月十五日午前十一時頃初音町安達[illegible]たり

●不發砲彈發見 四日午前十一[illegible]たるを以て[illegible]附砲兵將校に通報し之が取除方を依頼したりと(羅南)

[illegible]回に渉り本町[illegible]松堂書肆より少女世界外十冊の雜誌を窃取し之を古本屋[illegible]

●電話の話

—矢野通信課長談—

電話番號簿の利用

米國のジャマイカの圖書館に於ては各地方の狀況を知るべき好材料として米國の主なる都市の電話番號簿を備付することゝなせり蓋し同番號簿に依りて各地の官廳商店、倶樂部、劇場、並に旅館等の位置名稱を知り得るのみならず其他都市の各種の狀況を知るの便あればなるべし我朝鮮に於ても近時電話加入者以外の者に於て電話番號簿を購入するもの頗る少なからず之れ商品見本或は印刷物見本等の送付上頗る利便なるが爲めなるべし

電話番號の呼違ひ

電話番號の呼び違ひの爲め深夜又は早朝に於て電鈴の音に目を醒まさるゝは頗る腹立たしきものなりと雖も之れ必ずしも交換手の過失にあらずして却て多くの場合に於て加入者側の錯誤に依ることあり例へば京城區內にありて龍山の加入者を呼ぶに(龍山の何番)なる旨を告げざるが爲め京城の同番號の加入者を呼び出すことゝなり種々の行違を生ずることあり又龍山にありて京城の加入者を呼ぶに當りては京城何番なる旨を告げざるが爲め龍山の加入者を呼び出して種々錯誤を招くことあり或は加入者中には一、〇〇番を一〇〇番と若くば二〇番四〇番を二〇〇番四〇〇番と間違ふことあり即ち〇を一つ多く或は少なく呼ぶが爲め生ずる錯誤にして所謂桁違ひをなすものなり其他相手方の番號と隣りの行の加入者の番號とを間違ふるものありて自他の迷惑する場合少なからざれば各加入者に於ては若し電話番號の呼び違ひをなしたるときは特に其旨を相手方に斷りたる上引込まるゝ樣せられたし然らざれば間違はれたる相手方の迷惑少なからざれば也

□露國文豪 ゴルキー氏來らん

—目的は日本觀光と保養—

一時危篤から死去說さへ傳へられた露國文豪マキシム、ゴルキー氏が六月初旬に露國を立つて日本に來るといふ其の最近の消息に就いて昇曙夢氏は語る

□「氏がロマノフ家の三百年祭の特赦で、伊太利追放の旅から祖國へ歸つたのは昨冬のことであつたが、フインランドの或る片田舎で田園生活を始めたが間もなくモスクワへ行つて最近までズツとそこに居た

□伊太利から歸つた時は露西亞の社會は大きな期待を以て迎へたがたゞ自叙傳「少年時代」がイリヤ、トルストイ翁の「父翁回想記」と共に讀書界興味の二大中心となつて好評を博した以外には文壇では死んだもの〻樣に言はれた

□それも無理のないことで彼は母讓りの肺病で度々危篤が傳へられたほどの病弱で保養、治療、快復に力を注いで居る、軍事通信員となつたとの報も嘘であらう

□尤もカアヌウチン教授の「日光療法」で殆んど全快したと言はれたが最近また危篤が傳へられたのを見ると全快も事實で無かつたらしい、日本へ來るとせば悠々保養することも一つの目的であらう

□まだまだ氏は文壇にも社會的にも大抱負を有し最近の「社會評論」に現はれて居る社會政策、社會道德を論ずる筆鋒は鋭いもので社會道德に反せばドストエフスキーの書でも燒棄てゝ仕舞へと云ふ勢である

□文學上の抱負では伊太利で氏は少年文學として作品を提供し度いといふので東西の御伽噺を研究しそれに基いて二三の作品を發表して居る

□彼は亞米利加へ伴れて行つた女優アンドレフと一緒になて妻子を顧みないので妻子は非常に窮迫してゐると云ふことである、これなども大分非難の種となつてゐる

□今は昔ほど豐で無くズナーニエ出版會社も人手に渡したと傳へられて居る、彼は海が好きで伊太利のカプリ島にゐたこともあつた、日本へ來るにもその邊の動機があらう(東京)

必要は發明の母也

電話機は今を去ること三十九年前グラハム、ベル氏の發明に係るものなりと雖も電話機に關する思想なるものは既に千六百六十七年の頃に於てロバートフークなる學者に依りて考究されしものにて當時にても鐵線に依り音響を傳達するの方法は考案せられたるものなるも未だ電話機を必要とする迄に世の中は進歩し居らざりしを以て同機械の發明なかりしの也凡そ物は必要ありて始めて發明あり工夫あるものなるを以て必要は發明の母とも云ふべくグラハムベルの時代に於て電話機を發明せるは一は世運の然らしめたるものと云ふを得べし

電話にて郵便配達

英國倫敦にては日曜日に於て全然郵便の配達をなさゞるを以て信書を電話に依りて傳送するの方法を採用し居れり即ち市內又は地方より發出する郵便物にして日曜日午前に於て倫敦中央郵便局に到着すべき信書は倫敦電話區內の加入者に宛てたるものにして其肩書を倫敦中央電話局とし且つ日曜日電話配達と記載したる上封皮に十字形を畫しあるものに限り電話に依り其信書の內容を配達せらるゝものとす其料金たるや普通の郵便料金の外三十語以內每に金三片を支拂ふを要す此の方法は英國に於てこそ利便なるものなりと雖も我朝鮮の如く日曜日も平日も其配達回數に差異なき國に於ては右の如き信書の電話配達をなすの要之なきものとす

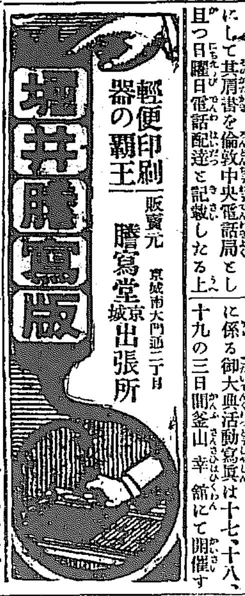
電話交換の過誤

電話交換事務に關する各種の苦情は獨り朝鮮のみならず世界に於て其交換事務の良好を誇りつゝある米國市俄古電話局の加入者中にも猶種々の苦情あり同電話會社の總支配人の談に曰く如何に當務者を督勵し常に最善の努力をなすも猶百中、一コンマの二の過誤あるは蓋し免れ能はざる所にして百中一コンマの二の過誤あればとて交換事務を不良なりと評せらるゝは甚しく酷なりと云はざるべからずと思ふに電話に關する過誤なるものは別項記載の如く獨り交換手のみならず其原因亦加入者側にも少からざるを以て常に交換手側は勿論加入者側に於ても亦御互に過誤なき樣致したきものなり

大典活動寫眞
十七、八、九の三日間
釜山幸館にて謹寫
主催 京城日報釜山支局
絕好の機會

●釜山の大典寫眞

京城日報、每日申報釜山支局の主催に係る御大典活動寫眞は十七、十八、十九の三日間釜山幸館にて開催する事となりたるが以上三日間晝間は釜山六箇所の小學校及女學校、商業學校、普通學校、商業專習學校、軍人團體の觀覽に供し夜間は一般公衆の觀覽に供する筈なるが今回の寫眞は普通一般のものとは大に異り居れば多數の觀覽あるべし(釜山)



●堀井謄寫堂の名譽

市內南大門通五丁目に出張所を有する東京神田區鍛冶町堀井新次郎氏は鐵筆謄寫版、外毛筆謄寫機輪轉謄寫機等を製造し完成したる功により九日綠綬章を授與せられたり

商況

東京株式特電

十五日 前場寄付 大引

日本郵船、京城電氣、南滿鐵株、日本麥酒、東株、東株新、東新第一、東新第二 [illegible]

債券現物特電

十五日川東値段(前日との比較)

東洋拓殖、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮瓦斯、南滿鐵道 六四、〇〇 [illegible]

東京公債直取引

十五日川東値段(前日との比較) 一四八、〇〇 一五〇、〇〇 一四六、〇〇 [illegible]

深川在米特電

一一、二〇 一二、四〇 五分利 [illegible] 九六、五〇 八二、三〇 八一、三〇 [illegible]

東京期米特電

十五日現在高 朝鮮米 內地米 [illegible] 九五、九〇 七三、六五 [illegible]

大阪期米特電

十五日前場 七月限 寄付 高値 安値 止め 一五、九〇 [illegible]

大阪株式特電

十五日前場 寄付 中値 前限 先限 一四、四〇 一五、二〇 [illegible]

大阪三品特電

十三日前場 [illegible]

下關期米特電

十五日前場 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 [illegible]

朝鮮物產特電

馬山改良、群山改良、木浦改良、同特改、鮮山改良、仁川改良、南浦改良、釜山上白、釜山中白、仁川中白、仁川上白 [illegible]

釜山大豆、釜山大豆、城津大豆、元山大豆、長淵大豆、釜山小豆、仁川大豆、平壤大豆、野木浦大豆 [illegible]

雜報

●染料の近狀

內地最近の染料情報によれば歐洲戰亂以來輸入杜絕中なれども本品の輸入は依然杜絕中なるに瑞西よりの輸入の途開けしに由り其月前は先づ一千方を得たるも[illegible]

下關相場

●鹽鯖は好況

●明太魚產地氣丈

●多少手心を加へつゝ

●精米小弱し

●塗料類の輸出

田中金物 [illegible] 電話 一五二一 [illegible]

●毛類は見送

●米價回復の時期延せしむる事となるべし

●正米引弛む

●弗々賣物を増加

●片栗粉不勢

總高の內にて東京の分約十四萬斤に過ぎずといふ

[illegible]

日 仁川米豆取引所仲買人 ほるみや 安聖九 土居 仲買店 [illegible]

深川大豆、鷹山大豆、元山大豆並上、同大玉現口、フリツボ大豆、同 十圓十錢 十圓十錢 十四圓二十五錢 十四圓三十錢 十四圓八十錢 十四圓八十錢 十四圓十五錢

各地商況

○木浦(十三日の穀物)[illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

十四日分 木原白米 一〇八叺 定州 [illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀物市場

十三日 [illegible]

吉 行賀仲買店 仁川 [illegible]

仁川期米

十五日前場

大阪寄付前十二圓二十一錢と[illegible]

電二節二十二錢安の入

移り二十七錢さ高移

[illegible]

市場零聞

△前場下げ澁る

受渡派の見送り大阪跡高を

十三錢と跳れ返し買物多く更に

△前場の市況

場況は尚一段の上直を思はしむる

△市場氣乘り薄

△底意強し

漫然買煽は許されざる

西の宮筋の內部に何か面白からざる事情の伏在

買越

[illegible]

仁川米豆取引所

十五日の七月限

前場	
寄付	十二圓七五錢
止め	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
出來高	二萬二千二百石

平均値段	
一節	[illegible]
二節	[illegible]
三節	[illegible]
四節	[illegible]
五節	[illegible]

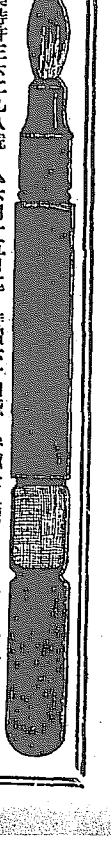
賣買取組高 五月限 六月限 七月限 [illegible]

北濱だより

△郵船の配當

△南洋護謨株

[illegible]



開店廣告

今般弊店儀擴張の爲め左記の處に洋傘專門の販賣店として洋傘のみ分店致し特別廉價を以て販賣仕る可く候間相變らず本店同樣御引立ての程奉希候

支店 京城本町壹丁目本店より五軒目西 まからんや

本店 京城本町壹丁目(電話四七番) まからんや

開業廣告

五月十五日より左記各驛間に於て一般旅客貨物の運輸開始仕り候

价川輕便鐵道

价川行(北行)

驛名/列車番號	2	4	6	8
新安州發	前九、一〇	後一二、一〇	後二、四五	後五、三〇
安州 着發	三〇 三三	三〇 三一	三、〇五 〇六	五〇 五五
北松里 着發	四九 五〇	四七 四八	二二 二三	六、一一 一二
龍興里 着發	一〇、〇六 一五	一、〇四 一四	三九 四八	二八 四〇
雲興里 着發	三三 三四	三二 三三	四、〇七 〇八	五八 五九
价川著	一一、〇三	二、〇二	三七	七、二八

新安州行(南行)

驛名/列車番號	1	3	5	7
价川發	前六、〇〇	前九、〇五	後一二、〇五	後二、四〇
雲興里 着發	二九 三〇	三四 三五	三四 三五	三、〇九 一〇
龍興里 着發	四九 五九	一〇、〇五 一七	一、〇三 一五	三八 四〇
北松里 着發	七、一五 一六	二三 二四	二一 二二	五六 五七
安州 着發	三二 三五	四〇 四五	三八 四〇	四、一三 一四
新安州著	五五	一一、〇五	二、〇〇	三四

乘車賃金表

					价川
				雲興里	、一八
			龍興里	、一二	、二七
		北松里	、一二	、二一	、三六
	安州	、〇九	、二一	、三〇	、四五
新安州	、一二	、二一	、三〇	、三九	、五七
哩程	3.8	6.8	9.9	13.0	18.4

一、四年未滿ノ小兒ハ無賃

一、十二年未滿ノ小兒ハ半賃

一、御携帶荷物ハ三十斤迄無賃

宮本武藏

第三十九回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

武藏先生が強弓を望むから大藏院宮内は　大「左様なれば是に飾つてござるから宜しいのを御覧なさるやう」武「宜しうございます……先生そちらの端にありますのは何分ですか」大「これは一寸二分」武「其をどうか先生願ひたいもので」宮内も少し驚ろいた、其の一寸二分と云ふのは五人張と云ふて弓屋からサア出来ましたと言つて持つて来た時に五人でなければ弦を張ることが出来ないもので之を新張五人張と申して幕府時代に地方は知らず江戸表に一寸二分の強弓を引いたものは二人しかない、上州伊勢崎の酒井の家来で關求馬といふ人と本所のお旗本で室賀熊太郎といふ者二人の外に無かつた、四斗俵を樂々と昇ぐ者でも容易に引張り切れない、此五人張りである、そこで宮内が宮本に　大「何も意恨のある勝負ではない、此強弓を引いて怪我等がありましては恐れ多いことで如何と思ひます」宮本は　武「左様ですか、併し戯事で怪我をしたのと違つて武士が弓矢の怪我をしたといへば、御主へ對しても立派に申譯が立ちます御心配なく其を持つてお對手を願ひます」大「左様ならば承知致しました」金主目代は心配して「サア五十貫危ないぞ、此人は五人張を持たして相手になる位ゐだから餘程出来る人だわい」と思つて心配して見て居る瓢箪屋は是を見て喜んで　佐「どうも江戸ッ子は違つたものぢや、旨く行けば二十五貫になる哩」と喜んで見物して居る、宮本は木劔を持つて、一本は下へ突出して一本は上に上げて活殺に構へて居る、ヤツと羽鳴を生じて飛来つた矢を木劔の平でそこへパチンと落した、夫ゆゑに諸流に渡らんければいかぬもので名古屋に逗留して居る時に宮本は矢止めを覺ゑた、上州眞庭の樋口の道場では矢止めの指南をして居りました、名古屋の山本源藤治は上州眞庭の樋口の弟子だそこで逗留中に矢止のことを心得て居るに依て木劔の平で打落した矢といふものは長いものだと思ふから受ることが難しくなる　それで矢を丸いものだと思つて稽古をするには鞠を釣して置いて稽古をさせる、宮本は心得て居るから木劔の平でカッチと落して二度目に来たのを持つて居る木劔の柄頭で欄間の所へ拂ひ上げた、三度目の矢を引くやうな男でないから宮内は其れを見て　大「誠に先生恐入りました」宮田武助と仰つしやるは全くの僞名、只今の御手の内では宮本武藏先生でござりませう何うか御本名を打明け下さるやうに」武藏先生大きに赤面致して　武「全く左様な者ではござらぬ」と云つて逃出した……何故逃出したかといふと宮本武藏が名乗を僞つて五十貫取りに来たかと思はれはせぬかと赤面して大小持つて逃出した、大藏院は　大「ソレ武藏先生に逃げないから一寸お止め申せ、お詫をしなければならぬから」と言ふに門弟衆心得ましたとドン〳〵追掛けて行つたが、宮本先生の姿を見失つた、瓢箪屋の亭主は何方が勝つたんだか負けたんだか分りやアしない　佐「待つて下さい面小手を著けて何處へお出でなさる」宮本は面小手を著けた儘で逃げ出した、後から大勢追掛けて来るから、何處へか隠れやうと思つた、スルと幸ひ大阪には船生洲といふ料理があります、其の船生洲へ宮本先生飛込んで仕舞つた　武「免るせよ」女「入らつしやい」此方へ　武「今私を尋ねて来る者があるかも知れないが然う云ふものは来ないといつて斷はつて貰れるやうに」女「畏こまりました」武藏先生は造身と酢の物か何かで御酒を飲んで居らつしやる所へ瓢箪屋佐兵衛ドン〳〵やつて来る　佐「モシ〳〵今三十二三のお武家のお客さんがお出でなすつたらう、黒い紋付を来て」女「イエお見ねになりません」佐「見にない事があるものかソレ此所にお客さんが履いて居らしやつた雪駄がある、頭隠して尻隠さず雪駄が並んで居るもの……」宮本先生そこへ出て来て　武「サア〳〵貴様なら宜しい、此方に来いよ」と佐兵衛を座敷へ通しました

婦人科　産科　二宮醫院

二宮亮吉歸郷中九州醫科大學産科婦人科教室醫學士錦見慶介君を聘し從前の通り診療可仕此段謹告候也

京城壽町四一　電話一二〇一番

入院隨意（診療夜九時迄）

泌尿器病　腎臓病　膀胱病　淋病　梅毒　下疳　皮膚病

專門

永樂町二丁目　金光教會隣り

安部醫院　電話一九一四番

五月十七日九星　舊四月十六日甲寅　木命九紫南納先

[illegible]

◎二大歴史の廉價　先年限約發行を以て非常の好評を博したる例紋山本史（全十一冊）及び通俗日本全史（全二十冊）の二大歴史は今回殘本二百部限り、前者は九圓五十錢、後者は十九圓の破格廉價を以て[illegible]一切の注文を謝絶すべしと云へば希望者は速に申込むを要すと本は東京早稲田大學出版部より逓出すと云ふ

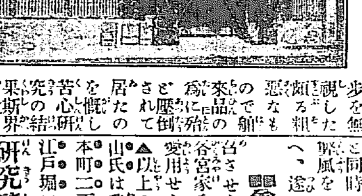
●化學研究より生れたる我國の化粧品

（四月二十四日「大阪毎日新聞」所載）

▲我國將來の國際的經濟競爭を支配する最も有力なるものは化學工業でなければならぬ、といふ事は歐洲戰爭以來著るしく我國民の頭腦に泌込んだ、卽ち藥品、染料を始め種々なるものに於て既に苦い經驗を嘗めさせられた、ソコで今後何時までも外國を頼にしてゐてはならぬといふので日本も愈々化學工業らしい工業の發展の第一歩を踏出した、而も科學の進歩は駸々として底まる所を知らず所謂新發明に新發見は相踵いで起り昨日の新も忽ちにして今日の舊となる有様である、故に此の進歩の急潮に棹して彼岸に進せんとする實業家は學問を輕視した從來の弊風を脱し進んで學者と提手して寸刻だも油斷なく研究に研究を重ねて行かなければならぬ事は論を俟たぬ處で、此の自覺は既に我國化粧品界の一角にも起り、斯界の覇者たり將た名物として目せられつゝあるクラブ化粧品總本店は昨冬新たに

◎中山化學研究所

を大阪に建設し、學識と經驗を兼備へた藥學士、工學士、理學士を始め多數の學者を招聘して、今や化粧品は勿論、各種の化學工業に就て熱心に研究を進めて居る、尤も中山氏が學者と提手して大に活躍すべく此の方面に著眼したのは昨今の事でない、既に明治三十九年初めてクラブ洗粉を製造發賣する前後からの事であつた

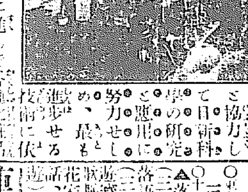


▲當時日本の化粧品は（中山太陽堂總本店）

▲當時日本の化粧品は日新科學の進歩を無視した頗る粗悪なもので舶來品の為に殆ど壓倒されて居たのを概し苦心研究の結果斯界の革新の急先鋒として明治三十九年四月三日初めてクラブ洗粉を發賣する其の品質の他品に比して遥かに優秀なることは忽ち社會の認識する所となり素晴らしい勢ひを以て各階級を通じて普及するに至つた而も中山氏は其の營業方針として、飽まで研究怠りなく年と共に新らしい有効原料を發見し之れを其の製品に加へ益々品質を改善してやまなかつた結果幾許もなくしてクラブの名は洗粉を代表するの勢ひとなり、單に内地のみならず、遠く海外にまで其の販路を擴張するに至つたが更に明治四十三年に至り斯界に未だ曾て例のない

◎外國技師招聘

の事を斷行し、英國倫敦藥學校出身の「エ、メンバー、オブ、ファーマシユーチカル、ソサイチー」の稱號を有する知名の藥學者ビー、エ、スミス氏を迎へ、技師として日新科學の研究と應用に協力せしめ、最も進歩せる技術に依つて洗粉の外更に進んで各種化粧品を漸次製造した即ち



（中山化學研究所の一部）

[illegible]

▲此等のクラブ化粧品は何れも歐米一流の化粧品に優れる逸品である、されば現今では洗粉同様内外各地で盛に人氣を集め、非常な好評を博した、と同時に内地に於ける舶來品崇拜の弊風を一掃し、斯界に一大革新を與へ、遂に畏くも

◎尊き邊の御料に

台させらるゝの光榮を忝うし、倘宮家を始め奉り貴族間にも盛に愛用せられてゐる。

▲以上の如く長足の發展を來した中山氏は我邦商工業の中心地たる大阪本町二丁目に本店を置き工場を江戸堀に、支店を東京に、化學研究所を大阪に設け、更に全國に三百の直接代理店と三百五十の間接代理店を有し、其他朝鮮、滿洲、支那、印度、南洋諸島、濠洲、南米、北米、露國並に英國倫敦等の各樞要地に多數の代理店、代表者を置いて日本製化粧品の爲に萬丈の氣を吐いて居るのは、聊か人意を強うするもの、謂ふべく、斯の如く中山氏が學者と實業家と眞の提手の結果は、將來確に吾人の刮目に價する所である。云々

演藝案内

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七　[illegible]

英獨海戰S二號　[illegible]

壽座　[illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇番　[illegible]

連夜滿員……大好評　崇禪寺馬場敵討　黄菊白菊　大正館

壽館　町　電話一〇五〇　[illegible]

御成座　電話二九一　三府合同歌舞伎　市川海老松　阪木龜鶴　大一座　[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三　[illegible]

りん病

消渇の方で困る多年の慢性もの[illegible]

自宅にて人知れず安全秘密に治癒せらる良藥あり只一郵で試す切手三錢送れば其良藥と自宅療法の詳細を報す

名古屋市南かじや町　武藤亀吉

岩崎大海堂セメンソク菓子

美味なる蟲下し最良藥　岩崎大海堂　[illegible]

主治効能
蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱
夜なきの虫、乳あまし
虫腹いたみ、疝熱の虫
虫胸あしく、勞熱の虫
虫せき、驚風の虫

▲近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢のは卅二錢分入りで函入で[illegible]よく常用と進物に妙です

▲美味なる▼
虫下し
最良藥
定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

胃活錠定價　全壹錢より登錢迄

定價（胃活錠一函五十錢、廿五錢、十錢）

本舗　東京日本橋本銀町　山田安民藥房　大阪南久寶寺町二　山田安民藥房

胃活定價　全壹錢より登錢迄

胃弱の人

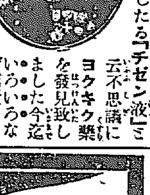
用心深き胃弱家は淺川博士の言に依る通り飲んで後に害を殘さぬ胃活を家庭に備へて常用し玉へ……胃弱は急げ

……人のいやがる……

わきがの藥

▲ハガキで申込化學療法書無代進呈す

●陸軍一等軍醫音尾博士の發見



陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきがの人に氣の毒に思ひ數年間苦心研究の結果今回最進歩したる「チゼン液」と云ふ不思議にヨクキク藥を發見致しました今迄いろ〳〵な無責任なる藥にて效無き人も彼是此ありふれた山師的の賣藥にて効無く御病氣は不治病と御悲觀なさる人も一日も早く此化學新療法にて全治の嬉しき御身となられよハガキで申込次第直に説明書進呈す

東京府下淀橋町柏木百四拾番地　東京博愛藥院

生殖器障害の二色

生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか短小の人も又本能に於て陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不完、交接不快、快美減退、腦神經衰弱等の人も自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞賛湧が如し詳細はハガキで申込あれ説明書無代密送す

▲高評益高きみ映み大阪に僞物有警戒せよ

東京神田かぢ町五　東京眞空療法研究所　電話神田七二二番

次狂

木の芽立より病の出る服用するなら今
のむに從ひ血をふやし肥つて強壯
●賣捌は各藥店にあり

●青竹直輸入大販賣

左官材料　材木問屋

釜山材木町一丁目　島末商店　電話局五四〇番

最モ優秀ナル淋病内服藥

ゴノチール

一容量（三十球、六十球、百球藥局用五百球、千球入）

今ヤ内外諸大家ノ實驗ニ依リ奏効的確ナル治淋劑ト認定サレタル本劑ハ醫界ノ泰斗エールリツヒ及グツトマン兩博士ノ創見ニ係リ淋菌ニ對シ烈強ナル殺菌力ヲ有スル「テトラメチールチオニンクロールヒドラート」ヲ基礎トシ極メテ合理的ニ集成セラレタル者ニシテ彼ノ危險ナル洗滌ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋菌、膀胱及尿道炎等其他泌尿器疾患ニ對シ遺憾ナク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル一新劑ナリ[illegible]各位ノ御試用ヲ希フ

○各地有名藥店ニアリ
○説明書ハ現品ニ添附ス

大阪市道修町三丁目　發賣元　藥品問屋　西村藥林社　電話本局二四九一、振替大阪七五九〇

營業品目

洋鐵、洋釘、鮮人向鍋釜
浪平板、亞鉛線、鐵條網
銅鐵鉛板及地金雜鑛類

直輸入卸商　（天）福田又京城支店

京城南大門通三丁目　電話一二三番　振替京城二九二番

醇良清酒　白鶴

增本酒店

仁川本町三丁目　電話一〇九番　振替京城六〇一九番

貯蓄預金

元金百圓ニ付日歩壹錢三厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社十八銀行京城支店　京城黄金町　電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一四番

同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

汽車　[illegible]

京城日報

十六日朝刊(夕刊と合せて八頁)

第三版

農界の進展

京城日報

今や朝鮮に於ける、各種産業が、順序能く、著しく進展しつゝあるは疑を挿むの餘地なく、何人も之れを否認する事能はざるべし。而も各種の産業中、最も確實にして、最も必要なる、農業が、特に新生面に向つて、著々進展しつゝあるは、邦家の爲洵に慶賀すべき次第なり。由來農業は、鑛山業其他の産業の如く、華美なる事業に非ず、されば從て其の發展の證績も、他産業の如く、世上の耳目を聳かすもの尠きも、熟々之れを觀察せば、實著に且つ確實に、大に其の進展の證績を發見するに難からざる也。農業の進歩としては、種子の改良肥料の選擇、其他種々の手段を必要とするも、元來農業の根本は土地にあり、卽ち多くの耕作地を得るにあり。世人或は朝鮮人は怠惰にして、到る處有望なる荒蕪地の遺棄されたるを見ると、這は實際地方視察者の目撃する處なりと雖も、彼等は好んで、斯の如き擧に出でたるに非ずして、貧弱なる彼等は遂に、所謂彼等の兩班の復腹に持て餘したるが故に、河沼の氾濫にまかせ、堤道の頽廢に委せり。されば此等の土地が、現に朝鮮農業上に於て、甚大なる損害を來しつゝあるは、明なる次第なり。然れば之等の土地にして、一朝開墾され拓殖されたらんには、之れ卽ち朝鮮農業上に於ける、多大なる純益にして、且つ農業の一大進展と云はざるべからざる也。此の意義に於て吾人は、近時各地方に、拓殖工事又は水利事業等發起せられ、新たに多數の耕地を得つゝあるを見ては、之れをしも朝鮮農業の進展と云はずして又た何をか云はんや。吾人は、昨年末の統計に於て、水利事業組合が、既設數十餘個所に亙り、蒙利面積一萬八千町歩を算せるを見ても、既に之等の新しき土地が朝鮮農界に提供されたるものとして大は喜ぶ處なり。殊に現に同業組合設置の出願、亦十數個所に及び、組合總面積二萬町歩を超過せんとする盛況は、寔に邦家の慶事、農界の福音とす。而も大正三年十月末を以て許可され、目下平北龍川郡に、盛なる工事中なる、大正水利組合の如きは百五十萬圓の巨資を投じて三千五百町歩の土地に對し、完全なる灌漑の途を開き更に干潟地を開墾して三千五百町歩の美田を得むとす。又た本年六月を以て完成すべき慶北迎日水利組合の如き、[illegible]面積數百町歩に達せんとし。且つ五月一日附を以て認可されたる、全北古阜水利工事の如きも、東津江支流の沿岸約四千町歩の耕地を整理し得べく確實に三千餘町歩の美田を得べし。然らば之等工事に依て、朝鮮農界の獲得する蒙利面積は、十萬町歩を越ゆるも、亦遠からざる情勢にあり。一方に於ては官民一致、以て農事の改良を計り、進歩に努め、一方に於ては耕地面積の擴張、著々として實現し、斯くて朝鮮の農界は、前途洋々、吾人大に意を强うするに足り、更らに此種事業の進展を促して、止まざる次第なり。

ヴ塞の陷落如何

陷落論者と不陷落論者

獨逸軍のヴェルダン要塞攻擊は果して成功するか或は遂に失敗に終る可きかは頗る興味ある問題にして參謀本部などにも陷落論者と不陷落論者との二派に別れて居るやうだ先づ不陷落論者の云ふ所を聞けば獨逸軍がヴ要塞に對して本攻擊を開始したのは二月廿日にして其の翌日には佛軍の最前線を奪取し同二十八日には本防禦線に壓迫し其の疾風迅雷耳を掩ふの遑なかりしは中外人をして驚嘆せしめたのである然るに爾來二箇月餘を經過するも其の攻擊更に捗々しからず却つて多大の損害を受けつゝあるは獨逸側には糧食兵器彈藥兵員漸く缺乏し又粗惡となるに引き換へ佛國側には其の補充十分なるゆゑに獨逸軍が最初の勢にて一氣呵成に攻落したならば兎に角斯く長引きて其の防禦準備益す堅固となりたることなれば疲憊の獨逸軍を以て之れを攻め落すことは恐らくは不可能なりと云ふに在り然るに又陷落論者の云ふ所を聞けば獨逸が食料兵器彈藥に缺乏したと云ふことは何れも捏造電報にて信ずるに足らざることは從來の事實に徵して明白である現に最近戰地より歸還したる軍事視察員の談によるも獨逸人は今に最後の勝利を確信して居れば彼等の意氣は少しも沮喪せず又軍需品の製造力も十分にして彼等は依然として終局まで最善の努力をなさんと欲してカイゼルに對する信認益す渥きを加へつゝあれば國內は多少の不平者あるかは知れざれども新聞電報に傳ふるが如く大騷動が勃發したなど云ふことは信ずる能はずと云ひ居れり又絕對後援のなき旅順さへも攻擊開始以來陷落まで十一箇月もかゝりたる日本人は辛き經驗を有するに食料彈藥兵員無限に補充出來るが上に世界一と稱せらるゝ要塞を攻擊するに假令獨逸軍が皆な獰あつても三箇月や四箇月にして攻落し得べき筈がない兵備上より云へば佛軍が其の防禦線前に敵軍をして攻擊準備をなさしめたるが既に其の劣勢を示して居るのであるヴ要塞攻擊は獨逸軍が殆んど其の運命を賭して開始したものであることはカイゼルが「平和條約は是非ともヴェルダンにて締結せざる可からず」と云ふて其の軍隊を激勵したのでも分る彼等不陷落論者が獨軍の攻擊が遂に失敗に終るであらうと云ふのは日々の捏造新聞電報を見て判斷するのである(某軍事通談)

一財界だより

大阪支局にて 近畿 探題

△棉花資金順調 各紡績會社の原棉買付は既に三分の二以上に達せる模樣なるも船腹の大不足にて船繰圓滑ならざれば買付棉の荷產地に停滯せるもの少からず加ふるに產地と船積港との鐵道輸送の順調に行はるゝとするも船積荷役の爲し難きに不止得貨車のまゝ放棄せらるゝ等の事情あり例年ならば目下棉花輸入の最盛期なるに拘はらず最近に輸入捗々しからず斯く原料仕入の方面に於て前記の事情あるに止まらず各紡績會社は業績頗る良好にして何れも多大の利益を收め殊に決算期の接近せる爲收益を現金に換へつゝあるより概して手許資金潤澤にて昨今棉花資金の需要著しからず從つて紡績手形の出廻り極めて少し尤も本年の棉花輸入は紡績糸の販路擴張に伴ひ平年より餘程增加すべく期待され其れ丈け多くの流通資金を要する勘定なるに船繰關係より輸入一時に纏まらず逐次都合好く按配さるゝを以て例年起るが如き現象は金融上に現はれざるが如し

△紡績利益增大 歐洲戰開始後我紡績は異常の發展を告げ明年末迄に約七十萬錘に增加を觀るに定れり若し歐洲戰が今後尙長引くに於ては支那市場は全然我製品の獨占に歸するは勿論印度南洋方面も亦我勢力範圍に歸すべし紡績市價の[illegible]きに非ず殊に昨今の如く原棉商に加ふるに鐵塊の好調を以てする等一として樂觀材料ならざる無し此秋に當り我紡績會社が果して幾何の利益を收めつゝあるや十日の原棉相場を標準とし之に持値を加へて平均したるものを同日の市價に對比し各紡手の紡利益を數字に表せば左の如し(原價の內各工費十圓を加算)

番手	混棉價格	原價	市價	紡利益
十手	二六圓	九九圓	一二〇圓	二一圓
十六手	二九	一一六	一二三	七
二十手	三〇	一二三	一三五	一二
二十二手	四二	一〇八	一九五	一五
四十手	四二	一八五	二一五	三〇
四十二手	四二	一九五	二三五	四〇

若し支那の動亂が豫定の如く五月中旬に平定せん歟支那商の反動的買氣を喚起すべければ我紡績界の前途は頗る多望と云ふべし

△鉛相場の奔騰 內地の鉛は一時價格昂進せしも其後漸落せしに大阪砲兵工廠は來る二十五日を以て同品五千噸の大口購買入札する旨公示したるを以て時價非常の暴騰を呈せる今後鉛の價格は如上入札の影響に依り一層漸騰の外なかるべし

□花(四)

(第三朝鮮短歌會詠草)

□京城 露峰
頑なの心おさへておとなしく世の習慣に花を賞でゐる
花の咲く春を迎へむ心もて努力の前にほゝゑみにけり

□同 猶坡
古妻の色香褪めたる高聲が人笑はする花の宴かな
小半日酔金櫻の木に耳を當てゝ聞かまし何を言ふかも

□同 双果
物言はでひた歩む囚人の群れ悲し櫻亂るゝ堤の夕暮れ
花吹雪する中に年若き狂人の大聲あげて泣きゐるを見し

□京城 柳學
松の間にひとさは眼立つ紅の桃の花咲きしづ心なし
昨日まで堅き蕾の櫻花たゞ一夜にて咲くもうれしき

□同 寳多子
金泥の襖やかたの花明り紫しとれの君戀ふるかも
男子等が酒壺をたゝいて浮かめるは天こむ花をめづるせむかや

□楚甚
初夏の杜の色なすパラソルを隠ごり刺繡へる白藤蓮
塚ほとり不圖も掘り出し壺のかけの淡き青磁の草花模樣

石首魚漁所感

關 平馬

◎鮮內に於ける石首魚鮟鱇網漁業は晩近長足の進歩を爲し、之が特殊漁場たる全羅南道蝟島及び黃海道延平島の如きは每年一定時季に於て內鮮漁船群集し、其漁獲高も亦四十萬圓に達せんとするの盛況を呈せり◎余は試みに昨年四五の兩月蝟島に五六の兩月延平島に渡航して其實況に接せしが、灣內に繫泊せる漁船は舷々相摩し前後相接續し帆檣林立、漁旗翩飜濱に西海區の偉觀たり、之れに加ふるに陸上に於ては平時荒寥落寞の一小漁村が俄然其趣を一變し旗亭軒を並べ絃歌四隅に起り殆ど絕海の孤島に在るの感なからしむ、此の間を得て沐浴理髮晩餐等各其望む處に歸港中の漁船乘組員は暫時休養の身心の慰安を取り、斯くて愈々潮時に際せば幾百千の漁船は一齊に拔錨擧帆艫艫相啣で漁場に向ふ、其光景や轉た壯絕快絕を極む

◎延平島所屬の漁場は距岸五哩乃至十哩蝟島所屬の漁場は距岸五哩乃至四十哩とす漁船の漁場に到達するや各自適宜の位置を撰定して網を敷設し隨て漁獲すれば隨て投網し反覆作業に從事して依然沖合に假泊せり、若夫れ天候險惡の徵あれば則ち急遽錨を拔き網を擧げて根據地に避難す昔は英國漁船の北海に出漁し假泊旬餘に亙る冒險の行動に對し之を歎賞したりしが今や我鮮海の石首魚鮟鱇網漁船は北海の其れにも勝り作業稱して勇敢なり、蓋し全南蝟島の如きは前記遠距離の漁場なるが故に順風に乘じ尙且十餘時間の航走を要す、而も西歐漁船に比しては恰も彼の短艇にも似たるべく其乘組員の如き亦僅三四名に過ぎざるなり◎斯るが故に一朝荒天の襲ふあらんか幾群の漁船は宛然木の葉を散らすが如く忽ち八方に離散して數日間殆ど其生死をもト知し難きものなきにあらず、幸にして元の根據地に歸著せしものも悲哉天然の漁港怒濤嚴角を打ち容易に陸岸に近くを得ず、或は瞬間の操作を誤り轉覆破壞の運命に遭遇するもの屢々之あり、現に延平島に於ける大正三四年漁期中の暴風には不幸港內に於て慘害を被りたる漁船十餘隻を出し、又蝟島に於ける大正四年漁期中の暴風には其歸港の不便なるよりして方向を他に轉じ辛うじて九死に一生を得各所に漂著せしものありたり◎凡そ何れの地方と雖も漁業發展の要素としては第一に避難繫泊上の港灣を擧げざるべからず、延平島の如きは可なりの廣袤を有する天然の港灣を備ふるも灣口徒に廣くして激浪を防ぐに足らず、而も千有餘隻の漁船商船相共に歸港したるときは後著のものは到底安全の位置を得る能はず勢ひ港口に接して繫泊するの止なきに至り隨つて風波の襲擊を免るを得ず、若し夫れ遭難者頻々と出で人命の損傷相繼ぐに至らば流石の漁夫も遂に恐慌を來し折角の事業に一大頓挫を見るなきを保せざるなり◎今や朝鮮內陸の交通機關は日を逐て整備し殊に黃海道の如きは流石に土木部長と稱せらるゝ、田中事務官の在るあり、道內道路の開鑿修築は駸々著々其功を奏せり、而も本道海面唯一の寶庫たる延平島港灣經營の一事に對しては未だ積極的施設の實現を見ざるは予輩の頗る遺憾とする所なり、聞く全南蝟島に就ては早晚之れが修築の計畫ありと、之れ頗る機宜を得たる措置なりと謂ふべし、此の如き根本的施設を全うして多島海開發の功始めて成るを得ん◎抑も鮟鱇網漁業は現に全南道廳に在勤せる正林英雄氏が明治三十二年長崎縣漁業者を引率し全南海面に於て試漁せしを嚆矢とす、爾來各縣漁業者が其有望の事業たるを認識し漁業者の逐年增加すると共に漁場亦各方面に擴張され以て今日の盛況を見るに至れり、本年蝟島に集合せし漁船は內地人に在ては佐賀、長崎、熊本、鹿兒島、福岡、山口の六縣にして四百八十隻、鮮人に在ては全南、全北、忠南、京畿、黃海の五道にして百八十隻合計六百隻とす◎顧て昨今內地漁船に於ける乘組員如何を見るに經濟上の關係より各船必ず一名若くは二名の鮮人漁夫を雇用せり、之等從業者は各道より來集せるものにして勿論沿海漁村の子弟なり、本年蝟島漁場に於ける總人員は殆ど六百人を下らざるべし鮟鱇網漁船は斯の如くして年々夥多の鮮人漁夫を養成し加ふるに多額の勞銀を與へて彼等の生活難を救濟し漁獲物は悉く鮮人魚商に賣却して內陸の物資を裕にし海陸產業の發展に貢獻するや頗る大なり◎思て茲に至る二港灣の修築は內地人漁業者に對する報酬として其値決して不尠ならざるべきを信ず、時恰も鮟鱇網漁期に際し聊か所感あり敢て卑見を述べて識者の批判を俟つ

下關期米特電 仁川米 現物界

蘇峰 德富猪一郎著 定價金貳圓 郵稅十二錢
大正政局史論
菊版四百卅頁 總クロース
大正政局變轉推移の遠因近因政黨分合消長の千波萬波其間に活動したる幾多政治家の一進一退微に入り細を穿ちて殺活縱橫一世の耳目を驚倒す洵に是れ政局史論中の白眉也巨擘也
大販賣所 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

家庭實用 武田裁縫書
學習院敎官東京女子高等師範學校講師文部省檢定試驗委員 武田太郎吉先生著 普通學務局長序文
高級女學校の敎官として將た武田裁縫學校長として生徒に敎授すること四十年、著者入神の技術を披瀝し悉皆の奧傳を公開したる本書は最新裁縫自習書の權威學校家庭必備文部省檢定受驗者必携の名著として、白熱的歡迎の下に三版發行賣行眞に無際限なる大盛況に在り
最大好評 忽ち三版
和裝 極美本 上下二卷 總紙數七百餘頁 口繪石版寫眞版十數頁 卷中挿畫約三百五十 定價各卷壹圓廿錢 送料壹卷十二錢壹揃廿錢 臺樺二十錢鮮支三十錢、各卷八錢、支四十錢
東京神田 冨山房 振替一〇五

申し上候 賣切れぬ間に 御注文が肝要に候
景品附賣出期間は 來る三十一日限りに候處 江湖諸彥の絕大なる歡迎を博し注文殺到 豫定の箱數茲數日にして盡きんとする盛況を呈し候
賣切れぬ間に 御注文無之候はゞ 遺憾乍ら 締切の不幸に立ち到る事と存候 何卒至急御注文の榮を賜り度候
國產サッポロビール 國產アサヒビール
サッポロビール アサヒビール エビスビール
大日本麥酒株式會社 京城出張所

◎對日交涉勸告決議

北京に在る山東出身者は日本に對して嚴重に交涉する樣勸告する事及び事實を調査し其の眞相を確むる事を政府に申し込むべく決議せり(北京特電)

◎兌換不停止決議

中國、交通二銀行の兌換停止に關する國務院命令に就き十四日奉天張將軍は財政當局者其他の者と會議の結果兌換停止は財界の恐慌を來す虞あるを以て兌換は停止せざる事に決議し其の旨北京に具申せり(奉天特電)

◎徵兵法案と委員會

英國下院は十四日朝強制徵兵法案の委員會を了したるを以て同案は來週より法律となりて公布さるべし(倫敦電報)

◎土外相と獨土條約

勃牙利議員獨逸宰相に誓言す

土耳古外相ホリイーベイ氏は獨土同盟條約に就き發表して曰く土耳古は戰爭加入前協商側より領土保全を條件とする提議ありたるも土耳古は之れを拒絕したる後獨逸は双互的意志上の平等權利を基礎とする長期同盟條約の締結を提議し四箇月に亙り伯林に於て談判を繼續したる末今や其の成立を見るに至れり而して該條約は領事職務執行住居國籍罪人引渡司法共助等を內容とし治外法權の痕跡を全然廢滅せしめたるものなりと尚勃牙利國會議員一行はブタペスト維也納を經て伯林に著せるが獨逸宰相は其の招待席上勃牙利の強大を祝し獨勃兩國共同利益の爲め最後の勝利を得る迄奮鬪すべきを述べたるに勃國議員は最後迄獨逸と行動を共にすべき事を答へたり(東京特電)

◎露軍敵の要地に奇襲

敵の砲兵はオヂンスキー運河地方に於て盛んに活動しつゝありコルキの東南に於て敵は一時露軍の塹壕內に侵入せるが擊退せられ露軍はエルゼンガンに向つて進軍中一要地に奇襲して四百名の捕虜を得たり(露都電報)

◎段內閣不信用

段內閣は財政に關する何等の政策定見を有せず財政上より信用全く失墜せり(北京電報)

◎上院議員視察

貴族院歐露視察團は歐羅巴露西亞の一般戰時狀態より財政經濟運輸交通等各方面の視察を遂げ歸途餘裕あらば滿洲蒙古をも視察する豫定にて來る八月頃出發すべく內定せるが出發期は露國大使館と交涉の上決定の筈なり尚各派に於て十五六日中に總會を開き人員を決定すべしと(東京特電)

◎藤澤參政官

內務參政官藤澤幾之輔氏は十五日午前八時東京驛發朝鮮視察の途に就けり(東京特電)

◎張將軍の態度

支那本土の猶ほ混沌たるが如く滿洲も三省の形勢頗る錯綜して時局の展開と共に如何に變化すべきか輕々に豫斷し難きものあり段將軍を體能く追ひ拂うて盛武將軍となりたる奉天の張將軍は馬賊上りの無學者なるも性來頗る怜悧にして勢ひを作り又勢ひに附くことを

▲甚だ巧妙を極め 昨今は中央の段祺瑞に款を通じ馮國璋、張勳一派とも陰に消息を通じて表面に袁氏擁護を標榜し裏面に宗社黨と手を握り愈々の場合に都合好き態度に出でんものと日夜肝膽を碎き居るが如き模樣あり彼れ作霖將軍は財力と武力とにて東省の一部に多少の勢力を有し居るも三省一帶に渉りての彼の威望は固より言ふに足らず奉天省のみにても彼の力の及ぶ範圍は餘り大ならず馮二十八師長との折合の如き其後も面白からず張は秘術を盡して馮の歡心を買ひ其意を緩和せんと努めつゝあるも馮師長においては

▲常に釋然たらず 最近軍務幫辦公署の問題について兩者衝突の結果馮は遂に憤然として根據地廣寧に引揚げたる始末にて最早や殆んど融和の望なき有樣となれるが張は馮が革黨と通じて事を擧げんことを非常に憂慮し更に種々の手段を講ずるに努め居れり宗社黨と竊かに手を握り合はんとするは彼が餘りに南方出身の知事連を強壓し之を逐うて奉省出身なる自己の乾兒を之れに代らしめ一擧に其の勢力を擴大せんと計り甚だしく革黨の感情を害し益々その反感を助長したるより革黨と主義及び歷史において相容れざる

▲宗社黨と結び以て自己の安全を圖らんとするの意に出で必ずしも復辟を主義とし目的とするには非ざるが如し袁氏擁護に一方贊意をほのめかし居るに見て其の心事を忖度するに難からずと云ふものあり時局混沌流言百出の折柄張將軍に關する世間の批判も多くは好い加減のものならんが彼の態度が從來の彼の行動に徵し此際油斷を許さゞる事だけは確かなり(大連)

◎滿洲拓殖と勸銀

志村勸業銀行總裁は安東、奉天、長春、其他滿洲の重要地點を視察して十二日大連に來りたるが傳ふる所に據れば志村氏の滿洲視察は滿洲の土地商租に伴ふ拓殖事業の實現を期するに付いて其拓殖資金の供給をなすべく勸銀をして其衝に當らしめんと爲め實地視察をなすに至りたる次第なりと眞僞は猶ほ保證し難きも本年春季貴族院において政府提出の滿洲拓殖銀行法案否決せられてより滿洲の拓殖資金供給を如何にせん乎とは各方面において種々に研究せられ居ることにて此の土地放資を目的とする長期低利の資金貸附を主とする金融事業は其の性質全く異なれる在來銀行にては不充分なる爲め此際何等かの便法を講じ度しとの希望もあり勞々勸業銀行をして滿洲に注意を拂はしむるに至り遂に志村總裁の滿洲視察となりたるに非ざるか之より先來滿せる正金銀行頭取井上準之助氏は大連において土地放資を目的とする金融機關の必要を語り內地金融業者の間においても滿洲拓殖の急と共に此點は充分に認め居れりと言ひたれば勸業銀行との間に何等か相識ありたるに非ざるかと推する者もあり若し果して勸銀が其の業務を滿洲に發展し主として拓殖資金の供給に當ることゝもならば滿洲銀行の創設は當分見合はす事となるにあらざるか斯は何れにもせよ昨今重なる金融業者、資本家、事業家が踵を接して滿洲視察に來るは在滿邦人の一般に愉快とする所にして軈てはそれが內地の資本を滿洲に投下せしめ謂ゆる正貨の資本化を滿洲の一角に實現する事とならば滿洲開發のために此上の慶事とあるべからず鈴木、住友などの資本家も既にそれ〴〵人を派して視察調査を爲さしめ居れり(大連)

◎臺灣の富源と勞働力

產業の盛んなる偶然にあらず

耕作法の進步―土人の勤勉―各部落の整頓

工藤調理課長談

植民地施政視察の爲め渡臺中なりし工藤調理課長の歸來談に曰く、臺灣は御承知の如く日清戰爭の結果條約に依りて日本の領土となりたるものなれど支那に在りても之れが統治は殆ど不可能の狀態なりしことゝて領有後も土匪の蜂起絕ねざる上生蕃てふ厄介者ありて人間の首を欲しがり無辜の土人にして其慘禍を蒙りたるもの、多きは一千名に餘れる年あり又氣候不順にして暑氣酷しきのみならず領臺當時より引き續きて惡性僂麻窒斯、ペスト、窒扶斯、臺灣坊主抔猖獗を極めたりしが

▲過去二十年間 に於ける當局の苦心經營に依り昨今にては生蕃の害も大に減少し土匪も亦全部殲滅せる上諸種の惡疫も殆んど地を拂ふに至れり、臺灣の財源が砂糖に在るは論ずるまでもなき事實なるが其產額は比年增加し今日にては年額五億萬斤を算せる而已ならず尚ほ追年增加の趨勢に在り、又た米は同島を通じて殆んど年二回の收穫を見、國の如きは西海岸全線に亙りて襲產し得可く、尚ほ他には類ひ稀なる樟腦を持ち阿里、八仙、宜蘭の諸山には檜其他の木材富饒にして、北方にはまた

▲多量の金石炭 を產出し、果實は同地一帶の名物にて各種の珍果に富む、斯くの如く臺灣は氣候風土の關係上天然の寶庫を有するが故に之れを朝鮮の現狀と比較せば富力の增進せるは爭ふ可からざる事實なり、同地の人民は昔福建、廣東地方より移住せる者多く驚く可き勞働力を有し、廣東人の如きは女子に在りても亦之れに富み、且つ何れも貯蓄の念熾烈なり、此點は我半島に於ても採つて以て範とするに足るべしと信ず、田舍を巡りて土人の生活狀況を見るも勤勉にして餘裕あり家屋又は部落の整頓せる樣到底

▲朝鮮の及ぶ所 にあらず、臺灣が其廣袤よりいへば我朝鮮の平均一道半に過ぎず、殊に其過半は依然蕃地なるに拘らず今日の富を致せるは洵に偶然ならざるを知る可し臺灣は東に偏せる地方に中央山脈あり新高、ミレビア其他富士山程度の高山連亙し急傾斜を以て山脚を投じ居れるが此他は比較的平野に富み臺北より阿緱に至る約八十里の間にも橫長き一大平野あり此平野は必ずしも全部肥沃ならざれど之れに對する

▲灌漑其他設備 の如きは頗る大規模にて巨費を投じて土地の利用に努むると共に、一方土地に對する土人の勞働力は前記の如く旺盛なるより一般作物は地質に似合はず生育非常に良好にして耕作法も亦頗る進步し居れるもの、如し唯だ吾人旅客が奇異に感ぜるは新政施行以來二十年を閱せる土地としては地方在住の內地人が甚だ罕なる一事なり這は氣候の關係又は惡疫猖獗を極めたる等の爲め

▲內地の諸人士 に取りては好印象を與へざるに依る可きならむも十二廳及び各支廳又は大會社の所在地以外に在りては內地人の家屋を見ること甚だ罕なり、斯の如きは殖民地としての開發上多少顧慮を要する處なる可く、現に風俗に於ても將た言語に在りても土人は依然土人にして內地人とは全然別個の生活を營み兩者の親和的生活を見ざるは恐らく彼地を見聞せる人士の齊しく奇異と感ぜる處なる可し

◎鑛山會社曲折

內容全く變更す

京城鑛業家を中心とし最近朝鮮鑛山株式會社成立の運びに至れる事は再三報せしが此の兩三日間に發起人の增加並に發起人中多數者の意向により當初計畫の生れ出たる際企劃者有志少數の主要目的とせし部分

▲全く變更し 來れり今其の實情を聞くに目下發起人會を經へ將に當局に會社設立認可申請を提出せんとする鑛山會社は純然たる營利會社となり初め此の有利なる重石採鑛を半國家的に日鮮人協同一致經營せんとせし精神と全く異なり居れり其の一二の事例を擧ぐるも初め發起人の一部は發起人に於ては一切權利株を取らず其の採鑛出願に基づく當然の割當株を受くるに留め而して商法に抵觸せざるやうすべしとせしも現在の計畫にては四分の一乃ち五千株を先づ發起人にて割取し更に四分の三を發起人及び重石採鑛出願者に賛同せる者に分配する事となり居り又其の利益の若干を公共事業に投ずべしとする條件の如きは全く除かれ更に諸種雜多の人物を發起人中に入れし點など悉く內容を變更し來れるを以て當初より內面に於て熱心に該會社成立

▲促進の機運 を進めたる津田鍛雄氏は發起人會を終れる十三日全く關係を斷ち又創立委員の一人たる小林藤右衞門氏も復た會社の內容當初の主旨と相違し來れるを以て十五日委員を辭退したるが唯南氏共此の計畫に對し今後共好意的の關係を持する事は變らざるべしと

◎重石鑛共同說

四月一日の重石鑛出願に就きては一方に於て朝鮮鑛山株式會社の創立準備中なるは本紙既記の通りなるが右は會社の機關に於て多額の經費を要するのみならず結局發起人又は資本家の利益となり一般出願者は僅少の利益配當を受くるに過ぎざる可きを慮るものありて之れに加盟を欲せず寧ろ鑛區每に共同經營を爲すこと遙かに行はれ易くして利益多かる可しとの新說現はれ勢力を得つゝありと傳へらる

◎价川輕鐵の運輸

今回鐵道局線對价川輕便鐵道線連帶貨物運送を開始せるが荷物取扱區域は鐵道局線平壤、鎭南浦兩驛と价川鐵鑛線价川、安州兩驛相互間と限定し一般大小荷物を取扱ふものなるが价川輕鐵は三井物產が其經營せる价川鐵鑛より鑛石を運出する爲め敷設せるものにして鐵鑛より鎭南浦を經て內地に運出さるゝ鑛石每日數百噸の多數に上るも鮮鐵との連帶貨物の取扱に關する協定なかりし爲め非常なる手數を要し不便を感ずる事鮮からざりしを以て鐵道局に交涉したる結果右連帶貨物運送を協定せるに至りたるものにして价川輕鐵は從來旅客の取扱をも爲さゞりしも近く一般旅客の取扱を開始するに至るべしと

◎國分長官巡視

國分司法部長官は十五日午後一時より京城覆審地方兩法院に就き事務を巡視したり

◎京畿隊署長會議

京畿道警務部にては管內憲兵警察署長を召集し五月二十日より向ふ七日間隊署長會議を開催する由

◎六十九聯隊一部著

十四日午前二時二十分龍山驛著列車にて步兵第六十九聯隊第二大隊將校二十九名准士官五十名卒以下七百二十七名到著せり

◎松永長官管內視察

松永京畿道長官は隈部警務部長と共に管內巡視の爲め十五日午前八時半成歡に向へり

◎全南隊署長會議出席

全羅南北道の隊署長會議出席の爲め亥角警視は十五日午前八時半往復八日間の豫定を以て出張せり

◎平壤隊署長會議出席

憲兵隊司令部副官太田大尉は隊署長會議出席の爲め十五日午前九時十分南大門驛發列車にて平壤に出張せり

◎辭令

十三日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府技師兼朝鮮總督府稅關鑑定官從五位勳五等 西川雄五郎

免本官專任朝鮮總督府稅關鑑定官

朝鮮總督府稅關鑑定官兼朝鮮總督府技師 秋田谷五郎

免本官專任朝鮮總督府技師

陸軍步兵中尉從七位 幸坂九十九

任朝鮮總督府警視

人事消息

▲笠井健次郎氏(東拓馬山出張所長) 十五日入京東京旅館へ

▲櫻井一彥主計(釜山兵站部支部) 十五日朝八時釜山より歸任の途入京

▲佐々木清綱氏(陸軍主計) 十五日夜入京不知火旅館へ投宿

▲菅田勇氏(南稅局高梁灣出張所長) 入京中の處十五日夜退京

▲堀川四郎氏一行 同上

南言北語

山東省濰縣問題で支那新聞は我石原聯隊長が開城を迫つたなんて飛でもない事を書いて居るが又た問題となつたが▲其の事實は支那官憲が日本語を知らなかつたが爲だと云ふ▲其れは聯隊長が騷動と同時に濰縣城內に居る日本人の危難を救ふ積りで▲支那官憲に日本人を解放せよと言つたのを奴さん解放を開城と聽き誤つて彼の樣な事を云ひ出した相な▲支那人の間違と云へば隨分滑稽なのがある▲其れは日本語を鳥渡噛かぢつた先生達が日本通を振り廻すので珍聞も出來る譯だ▲北京の此の手合の日本通から古市公威氏に宛てゝ來る郵便物が之れは特に振つて居る▲宛名は何時も古市鯛殿とある、鯛武士と云ふのは忠臣藏の芝居にあつて隨分人を罵倒した云ひ分だ▲古市氏も不審して能く〳〵調べて見ると公威を例の生兵法で鯉と覺え込み▲其の鯉を何時の間にか鯛と覺ひ違ひをしたので古市鯛殿は笑はせる▲佛國の戰場では戰鬪の爲家屋や倉庫が破壞せられたので鼠の居處が無くなつた▲其處で鼠群は塹壕に襲入して苟も食物と見れば片ッ端から喰ひ散らす▲はては眠つて居る兵士の髭を喰ひ甚しいのはポケット內の紙幣迄喰ふので佛兵は鼠群を敵以上に恐れて居る相な▲一方獨逸では食糧缺乏の結果餓鬼道に陷て噛み合ひが始まつて居るとの事だ▲噛合ひも好からうが支那の噛み合は何時の間にか唖のヒッかけ合になつて仕舞つた▲今度は何になるかナのア

◎琿春鮮人饑餓に迫る

人にも自國民同樣救濟の途を講ずべきが日支新協約實施以來支那官憲は……

穫迄の見積りにて彼等救濟費約八千……を以て其筋に請求せ……

せざるものには之を給せずと(吉林)

交通部の調査に據れば各路每一日の收入は京漢四萬六千元、京奉三萬八……

◎賑しい娘々祭 搭耳堡驛か……

祭禮と同時に一大市を開き原始的な……物々交換なども行はれ……のである……

主家の自轉車二輛を竊取し何れも質……

來商密町にて金銀細工業を營み居りし平田健藏(二)は本年二月妻子を郷里に歸らしめ自身は二月七日より……

一簿記募集一 通學生 寄宿生 校外生 開校廿五週年優待募集 東京芝區田町十一番地 私立認可 日本簿記專修學校

巖谷小波先生監修
最も信用厚き繪雜誌の王 幼年畫報
お子樣方お待兼の 六月號 定價各十二錢 東京本町 博文館
最も有益なる小學生の良友 幼年世界

醇良清酒 本火發賣
釀造元 大阪府堺市 鳥井本店
特約店 京城南大門通り 鍋島宇吉商店 電話一〇三八番
釀造場灘御影 鳥井御影工場

會員大募集 通俗實用 工業化學講習錄
化學工業勃興の時代來る此知識を修得し應用する良師友也 理化學專攻の大家講述 會費壹ケ月五十錢 見本郵券貳錢封入申込次第進呈 入會金不要
東京京橋區弓町十二 工業化學講習會 振替東京一二四八番

石灰は長谷川よ
銀牌受領
□建築用 □工業用 □壁塗用 □消毒用 □肥料用 □セメント □左官材料 □其他一式
製造京城工場麻浦 長谷川商店 電話三八三番

季節と共に必要なれり 特にアルボース

牡丹（京城府尹官舍後庭）

●交戰國を巡り來て
北氷洋へ　戰亂を逃れた白耳義民
＝營林廠技師＝ 今川唯市氏談

戰爭の影響が意外の處にまで及んで居る事は今更言ふまでもないが獨逸の爲めに列國保障の平和を蹂躙された白耳義人や其他の交戰國の避難民の內には遠く北氷洋のアイスランドに逃れて大戰亂を他所に平和なる理想郷を作つて居る者が尠くない一寸考へると北極に近い

アイスランド

は其の名の如く一年中雪と氷とに鎖されて殆ど無人島の如うな狀態であらうと想像されるが事實は案外に左樣ではなくメキシコ灣から出た暖流は大西洋を流れ來つて英國及び那威等の海岸を洗ひ兩方よりアイスランドを抱擁して流れて居るから陸上の奧地は猛寒人の住むに堪へ難い處もあるが海に近い島の周圍には殆ど一年中氷が無く氣候頗る順調で人の居住に適して居るそればかりでなく暖流に乘つて來た

無數の魚族が

島の周圍に群を成して居るから年々歐洲各國から多數の出漁團が來て漁業に從事して居つたが戰亂勃發と共に交戰各國の壯丁等は多く從軍し若い遠洋漁業者が少くなつたのと且つ獨逸の潜航艇を恐れて出漁人は俄に少くなつたそれに代つて獨逸の爲めに母國を荒された白耳義人が多く此の島に來て漁業を營み今や尠からぬ利益を獲得して居るアイスランドの海には頗る

多種類の魚群

が集まつて居るが其の內で鯨は主なる漁獲物であつて且つ世界の各海洋で捕獲する鯨よりも其の體軀が巨大であると云ふのを以て有名であるその大きいものになると一匹の値が八萬クローネーに上るものが尠くない一クローネーは凡そ我が六十錢に當る斯くの如き大鯨は一匹の油料一ヘクトリツトル値二百クローネーを越すものがある此んな大鯨を濱に引き揚げた時には漁夫等は

鯨の口の中に

腰も曲げず自由自在に出入して居るさうである、陸上には又交戰地からの戰亂を避けた各國民が牧畜に從事して居るアイスランドに於て牧畜と稱するのは野生の牛馬豚羊を捕へ來つて之を飼馴し各國に輸出し又はミルク羊毛などを取るのである之れをヤーグドマンと呼び野生の馬獵師と

云ふ意味であるが多くは羊を飼つて居るアイスランドの羊は其

毛質極て佳良

にして多量なるが故に刃物を以て毛を刈り取る樣な事は爲さずにレーキで羊の身體から搔き集めるのである猶アイスランドは海產畜產に富んで居るばかりでなく地質がルートフルートに適し多量の芋、落花生、大根、人蔘、午蒡などを產出して頗る生活を容易ならしめて居る意外の災厄に遭ふて流離轉々の非運に沈淪した白耳義國民は此島に上つて既に

少からぬ財產

を拵へあげた者もある、また戰の爲めに家を焚かれ田地を荒されて故郷を追ひ出された哀れな人民等も此の島へ流れ着いて敵も味方もなく仲よく羊を飼つたり魚を漁つたりして戰爭を他所に樂く暮して居る（つゞく）

口盛厚王の御名

十二日御命名式を行はせられたる東久邇宮稔彥王殿下の第一王男子盛厚王の御名に就き其出典を伺ひ奉るに禮記に「其德盛者厚、其厚者其義章、其義章者、其祭也敬」とある一節を御採用相成りたるものなりといふ（東京）

●京都大學病院燒失
小兒科より發火

十五日午後五時三十分京都大學病院小兒科研究室より出火し見る〳〵間に階上階下火焰に包まれ燒失せるが同所は東に眼科西に皮膚科あり小兒本館の階下は診察室研究室藥局及び事務室にて階上は敎授室圖書室等なるが全部烏有に歸したり尙本館の北方病室は數十名の小兒入院し居りしが直に全部避難せり大學總長以下職員看護婦及び各署總出にて消防に盡力し七時鎭火せり（午後六時半發大阪特電）

●二檢事の論告
高松瀆職事件

瀆職事件公判は十五日高松地方裁判所に於て開會波多野裁判所長以下著席松檢事の論告あり其大要は坂本增田證據物件に就き取り調べたる上一の僞證を本件に加へ居れるも之れは事實明白なれば別に意見を述べずと林田白川增田等が當時の農相大浦兼武の旨を受け此の三名が共謀して增て瀆職事件に就き第三十五議會にて師案に贊成せしむるには金を與へて贊成せしめんと林田は白川に金を交附し白川は森川以下を買收し板倉は大浦より直接金を受取り關東組を買收したる事を述べ續いて大浦の不起訴に就きては山下檢事正より詳細論告せり（大阪特電）

●空砲で馬賊を擊退す

去る九日夜十時頃馬賊約三十名は昨山を襲擊せしより同地憲兵及び步兵若干名は空砲を放ちて之を擊退し尙其三名を逮捕したりと之に對し高密守備隊より將校以下二十名臨時列車にて應援の爲め同地に來著せり（營口）

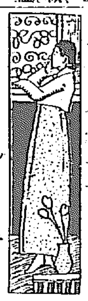
●三度自殺を企つ

十二日午後六時頃釜山草梁坂下門附近鐵道線路にて年頃十八九歲の一美人が轢死せんとなし居たるを保線の佐藤某が認め其の不心得を諭して立去らしめたるに同夜十時半頃又も同地附近の線路に佇みて夜行列車の來るを待ち居るうら若き一美人あるを踏切番が認めたるが是又同樣の女なれば直に草梁巡査派出所に連行したるが同人は原籍愛媛縣越智郡西伯方村藤本萬吉二女はな（十九）とて十日午前十時半頃草梁農工銀行支店前の踏切附近にて轢死を遂げんとして發見され釜山署にて說諭の上翌十一日釜山の辯護士大戶復三郎氏方に下女として引取られしも十二日夕同家より無斷家出し前記の如く自殺を圖りしものと逐一申立てたれば同署にて保護中なるが同人は別に精神には異狀なしと（釜山）

●斧で頭を割る

慶北慶州郡川北面花山里居住の李神吉（三八）は常に同村の朴壽中三男朴龜壽（二二）より侮辱を加へらるゝを以て快からず思ひゐたる折柄去る六日李は飲酒して朴方に赴き種々朴に喰つてかゝりたるに朴も默つて居らずこゝに双方口論をはじめたるが李は又もや朴に言ひ伏せられ口惜しさのあまり傍にゐたる朴の母に對し汝は年老たる盜賊なりと惡口せしに朴は激昂してその場にあり合せたる斧を取つて李の額を强か毆打したり李は漸くその場を逃れて歸宅したるが重傷にて遂に去る七日絕命したりこの屆け出に依り警察署にては加害者朴を引致し傷害致死として目下取調中

口妓生の繪
優しい手に墨を塗付けながらお稽古



鍾路警察署長松井警視が妓生を集めて「お前達は今賤業を營んでると云ふて自らを卑うし自墮落に身を持崩しては可けない、品性を愼み、心掛を良くすれば良家の夫人となる事も出來る、運次第で玉の輿に乘る機會も來るだらう、兎に角平素の言動が大切である」と慈父が子に莅むやうに說き聞かせたところ妓生一同

▽非常に感奮

した事は既報したが元來純朴なる妓生は克く署長の訓示に順ひ新規則を守つてゐるが近頃になつてそれがだん〳〵事實に現はれて來て妓生の特技である書畫の稽古に志し又他日家庭の人となつた時に用立てる積りか家に在つて裁縫の道を勵む者が大分澤山出來て來たとの噂がある、それに就いて茶屋町の芦脇の大家橘小石氏の所へ繪の稽古に來る妓生があつて同氏は

▽熱心に敎へて

ゐる、春堂李寅紅、玉峰韓山月、丹雲金彩紅、蓮田金弄玉、護松金綠珠、蕙香申銀姬、春史林玳花、錦史金銀姬、花隱金小紅、琹園金玉眞などゝいふ美しい名の連中が毎日習ひに來て優しい手に墨をべた〳〵塗りながら紙を展べて松、竹、梅、蘭などの四君子の稽古に餘念がない、此の中でも茶洞組合妓生取締の

▽金明玉の妹で

藍田金弄玉（一二）といふ妓生見習が年の割によく書くといふ、丁度記者が行つた時に此の藍田が來合せ書いて見ないかといふと別に耻らひもせず卽席に筆を取つて蘭、竹を描いたが運筆も達者だし濃淡も程よく出來て子供としては先づ見込みのある方だ、小石氏は曰く朝鮮の婦人は書、畫とも天才的な所があつて正則に習ひ始めると

▽槪して發達が

早いやうです、ですから敎へ込むにも張合があります、始めは四君子を描かせて居りますが次第に技が進むにつれて花鳥風月に移らうと思つて居ります云々と歌舞音曲の外には最も忌はしい事より知らない此の社會としてはまことに好い傾向と言はねばならぬ

●飼牛數頭咬み殺さる

咸北咸興郡朝陽面上岐川面附近は昨年來狼の出沒頻繁にて被害尠からざりし爲めストリキニーネの裝置を以て狩り盡したる模樣なりしも昨今又も狼の出現するに至り二三日前上岐川面にて農家の飼牛數頭を咬み殺したるより近々狼狩りを開始すべしと（元山）

●漂流中救はる

全北扶安郡山內面鎭東里金映七所有の小型船に金炳綸、金允初、金炳淵の三名乘り組み同郡山內面熊淵里の海岸に碇泊中去る七日夜暴風に吹き流され二海里沖の海上に於て沈沒し前記の三人は木片にすがり漂流中金允初及金炳淵の兩人は內地人の漁船に救助されたるが金炳綸は行衞不明となりたるより屍體搜査中なりと

●八歲で一人旅

十三日の朝入港の關釜連絡船櫻丸より下關に上陸せし原田仙一郎と云ふ當年八歲の小供あり「長野縣北佐久郡三代田村大字下前田原山口淸太郎方行き保護を賴む」と記せる木札を帶に下げ居り同人は前年來實母と共に朝鮮永登浦にありしが如何なる譯か前記の處へ赴く事となりしものにて金三圓を所持し居り途中飲食物を求むる際には宜しく賴むとの意味を認めたる連絡船長及び沿線各驛長宛の書面を示し下關驛にても驛長より車掌に其旨を含め八時五十分發列車にて出發せしめたりと（門司）

●帆前船の遭難

慶南巨濟島知世浦仲繁吉の所有に係る帆船は香川縣三豐郡觀音高橋音吉船長となり內地人三人朝鮮人一人乘組み雜貨を積載して去る八日慶北迎日郡興海面竹川洞の沖合二十丁の海上航行中暴風吹き起り船體傾き浸水し乘組の巨濟島生れ其三辰（三七）は海中に墜落し廣島縣沼隈郡百島生れの船具本甚之助（三八）は行衞不明となり船積荷は全部流失せりこの報に接したる其筋より係官出張屍體搜査の結果甚之助の屍體は船底に又三辰の屍體は竹洞を距る六十町の沖に漂ひゐたり、該屍體は檢視の上船長に引渡したりと

●六神丸の密賣事件

大阪市西區川口町川口居留地在住支那福州生れ陳鎹陳（五七）が外二名の支那人と共謀し昨年十一月より本年二月までの間に六神丸を密賣したる事件は十三日大阪地方裁判所刑事第一部にて公判開廷事實審問の後檢事は春に對し懲役四箇月其他何れも體刑の論告をなしたり來る十六日判決言渡あるべし（大阪）

●路傍で變死

十四日午前八時頃京城樂園洞路傍に變死人あるを發見し鍾路署より係官醫師出張檢視せしが同人は住所不定の朴致祥（三二）といふものにて以前より重症の肺結核に罹り豫て總督府醫院にて施療を受けゐたるものゝ如く施療券及び現金十一錢を所持し居り通行中俄かに卒倒し遂に絕命せしものと判明し屍體は府へ引渡したり

●發狂して溺死

京畿道楊川郡縣廳面金谷里金券燦妻鄭氏（二七）は七日午後二時半頃同面高灘里の渡船場下流約二丁の箇所に死體となりて浮び居るを通行人が發見し其筋へ屆出でたれば係員出張檢視せしに同女は豫て精神に異常を來し居りて投身したるものと判明し屍體は夫へ引渡せり

●鐵道家族娛樂會

龍山鐵道俱樂部にては滯京中なる東京遊錦派琴古流尺八の宗家山本邁童師を招き十五日午後六時より鐵道局員家族娛樂會を開く

◎鍾路署の戶口調査

鍾路警察署にては十七日より二十二日迄當非番警官全部を擧げ檢病を兼ね管內居住者に就き精密なる戶口調査をなすべしと

南米倉町朝市場通仁濟病院跡
上野花柳病醫院　內科外科　電話二九三四番
（入院隨時）

◎曹谿寺の講話　大和町三丁目曹洞宗曹谿寺にては秋季普門會執行に付十七日午前十一時より法要講話等あり向ほ供養をも爲すと

◎日本麥酒賣出し締切　空前の大景品附賣出中の大日本麥酒株式會社のサツポロ、アサヒビールは賣出し以來各階級を通じて多大の歡迎を博し注文非常に多く豫定の箱數の如き數日を出でずして賣切れの盛況を呈したるが此際各需要家は速かに注文せざれば好機を逸するに至るべし

◎河瀨氏結婚披露　總督府會計課員河瀨條氏は此程同課中谷氏從妹と婚約整ひ十五日朝陽軒にて親族知友を招き披露宴を張りたり

◎特許茂木式桶碎機　仁川日本醬油株式會社支配人茂木和三郎氏は多年苦心の結果味噌製造桶碎機を發明し特許出願中の處今回許可せられたるを以て京城出張所に同機を据付けヨほまれ味噌を製造賣出したるが非常に好評を博しつゝあり

城壁巡りから思ひ付いて京城山岳會か探勝會とでもいふものを組織しては何うかと噂子が發起したら早速こんな要領の投書が來た▲現在既に土地調査局や遞信局などには此趣意の會が出來て居るが其他の役所や銀行會社にもあるに違ひない▲其等とも連絡を取つたら會員の中に山野跋涉の經驗のある人が出來て便利だらうといふのであつた▲贊成者が多ければ噂子の如きも意志疏通機關となつて一臂の力を提供するを辭しない▲不良朝鮮少年の話は豫て聞いてゐるが二三日前の夜の九時頃太平通りで若い內地婦人が片語交りの日本語であられもないことを言ひ寄られて居る處を見た人がある▲其朝鮮少年は間もなく通り蒐りの警官に見付けられて引かれて行つたさうだ

京日案內

普通（一回前金三十錢 匿名一回每に金五錢增）　番外（一回前金六十錢 匿名一回每に金五錢增）　▼申込後中途揭載中止の節は料金返戾せず

▽修養立志 ▽自己の爲めに 四十錢 ▽西國立志篇 三十五錢 京城本町 振二八一 ウツボヤ書店 158

●鑛山監督に經驗あり同事業家に雇はれたし御入用の方は電話千三百六十番へ御報次第本人參上仕候 446

▲店員入用 年齡十七八歲以上市內に保證人を要す當人來談あれ 京城本町一 大阪屋號書店 450

▲尺八と明笛 ▽初步にも容易に出來る 京都特製品は京城勢山樂器店にて御求あれ 445

▲代診採用 希望者は履歷書送れ 平壤泉町 齋藤病院 443

●預けたし 本年三月生の男兒乳の出る方に預けたし 本町一丁目三參畫二六三六 大正社 442

●代診生に被雇たし小兒科內科に經驗あり田舍にても差支なし 京城櫻井町一の四九 富田鶴吉內 島本豐彥 440

▲見習看護婦入用 身元引受人を要す 京城本町三丁目 伊藤耳鼻咽喉科醫院 438

但馬特產柳行李 右今般新規開店特別大勉强 並に古本賣買所 京城本町三丁目 但馬屋號 北村商店 428

昆蟲及植物採集用具 特價販賣 京城壽町四○ 電話二七六 同天堂敎育品部 421

新雜誌廻讀會 新古本の貸本 買受交換割引 松榮堂の特色 京城本町一 電話一三七八 430

▲キヤラメルは滋養に富む ▲人蔘キヤラメルに限る 京城藤商會の 413

◎古本なら野村 買入誠實御報參上 京城本町一丁目（明治町筋）電話二六三六番 野村書店 142

番外

集金人 外交員入用 確實なる人を求む 面談午前十二時迄 本町四丁目四十五番地杏林堂藥店橫 雜誌スヽメ京城支社 448

▲讓店 市內本町屈指の場所 將來益發展の望ある最老舖歸國に付至急讓る 希望者は照會あれ 451

店員募集 年齡廿三四より卅歲迄 品行方正にして市內確實なる保證人二名を要す 希望者は本人來談あれ 京城宮光化門西側 山內商店 電話二六三○番（姓名在社）447

京城春川間乘合自働車 京城發午前七時 春川發午後二時 賃金片道四圓 京城明治町 電取次一八四六 支配人 ◎春川自働車商會 松田壽男 450

給仕採用 年齡十六より十九歲迄 市內家庭親戚有る者 高等小學卒業程度多少英語素養有る者 來社員たらんとする者履歷書持參 西小門外 スタンダード石油會社 449

看護婦募集 但し調劑經驗ある者 年齡廿五歲以下市內に確實なる保證人を要す 希望者履歷書携帶午後本人來談 京城壽町 島崎病院 439

●はねつき ぐじき等 うちみ 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 150

東京中川式 便中電燈 魔法マッチ 御小賣 電池の强力他製品と比較を乞ふ 黃金町電三九 口座京城壹貳壹九 十八時計店 川合 186

內科 兒科 專門 呼吸器 胃腸病 京城本町二 元中島病院跡 山田醫院（入院隨意）電話二八○番 197

分析 鑛物各種（正確迅速）京城太平町二の一三○ 朝陽分析所 424

外務員三名採用 希望者は次の各項承知の上至急來談 一、仕事は各學校に理化學機械の販賣に從事する者也 二、必ず自轉車所持者にして地方に出張し得るものたる可し 三、保證人二名を要す 四、採用者は出張手當月二十五圓を給し收入は步合配當となす 五、遠隔地の希望者は履歷書のみ送れ 京城櫻井町二丁目二○ 京城敎育品取扱所

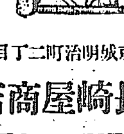
鑛山用機械類並採鑛用具 マグネット新荷著 京城南大門外 電話二九四○番 京倉商會 417

玄米糖化卒先者にて於東京帝國大學友會開東釀酒大會一等賞受領 純粹糖化の玄米乳 京城新町 414 玄米乳の僞物あり絶對無效力 製造所 電話二七八

苗 移植好時期 寫眞入カタログ培養法說明書の方は往復ハガキにて申込み次第送附す 大阪 細井秋好園

■大正五年の新事業！■薄利にして丁寧迅速なるは當所の特色！ 諸器械 其他金物 一切 龍山漢江通り十一番地 五龍鐵工所 所主 大高虎吉 電話六三六番 土木建築業諸兄は特に御愛顧を乞ふ

寫眞機 寫眞材料



京城明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二○番

タングステン 用手廻搾鑛機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一襃狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たる光榮を得 京城南大門通五 電話一○四番 中根商會

新刊書御案內

書名	著者	定價
鐵筋混凝土工學	阿部美樹志	二、五○
實驗和洋梨栽培法	恩田鐵彌	一、三○
禪と日常生活	山田孝道	一、三○
醫界珍聞錄	杏林博士	八○
歌の作り方	金子薰園	四五
黑田如水傳	金子子爵	四八
謠曲手ほどき	平山梅香	一、二○
人及び女として	晶子	一、○○
東京紅燈集	吉井勇	六五
紅燈夢	春風樓	一、○○
駒のいなゝき	巖谷小波	九五
經世情話	熊見春草	五五
紅燈ロマンス	河內夜舟	七五
手紙風呂	小山內薰	四○
仇情	吉井勇	四○
八の馬鹿	三重吉	五○
日本征服	樋口麗陽	八五
電氣工學重要問題解答	江藤淸吉外一名	一、○○
靑年與村の指導	寺井勝次郎	八○
義勇團		
哲窓茶話	井上圓了	四○

京城本町 電話二○八六 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

京城春川間自働車運轉 京城發午前八時 春川發午前九時 京城南大門通一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話二一九番 主務 金正淵

生千瓢 (213)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長湫(十四)

人々は兵粮の箸を留めて、目を凝して其方を見る。雲は次第に廣く擴がつて、其奥から奇しき物音さへ聞えて來た。

「敵でおらうか」

「いや味方ぢや」

「味方が此處へ來る筈なものぢや」

「敵ならば先からこそ懸らうよ。不意に中軍を衝かう譯がない」

「其も爾ぢや」

此樣な評定をしてゐるうちに、一

隊、また一隊、漸次々々に相加はつて、前面十町か程を殆つた時、霧を破つて飜かした旗には、源氏車、月星、永樂通寶などの紋標さへ、間近く見ゆるまでに至つた。

「や、敵ぢや！」

「おゝ敵ぢや！」

割籠を捨て打物手に取り、馬牽き寄する間もなく、敵の揚げた鬨の聲ともに、はや小荷駄は追ひ散らされて、雪崩をうつて本陣に崩れかゝり、備へを立つる間もなく、右往左往に立ち躁いで、敵に捲き交へぬうちもう總崩れに崩れ立つた。

是れは小牧山の先發隊たる榊原小平太康政、大須賀五郎左衛門康高、水野總兵衛忠重、同く藤十郎勝成、本多彦三郎康重、岡部彌次郎長盛等の一軍、丹羽勘助氏次を案内者とし、兵を潜めて追躡し來たものである。

家康は上方勢が八日夜亥の刻(十時)に發向して、三州に向ふと諜知するや、其に先つこと四時(八時間)前、即ち未刻(午後二時)を以て、先づ此の一隊五千有餘の人員を繰出して、小牧山の東三里に在る小幡の城に入らしめた。白晝に於ける進發であつたに拘はらず、是れを敵に知らさなかつたのは、如何にも軍規の振肅して、水の洩るべき微隙だもないのが思はれた。

小幡の城將本多右兵衛佐廣孝、軍の人々を迎へ入れ、細作を敵陣間近く忍ばせて、其動靜を窺はしめ、先づ軍議を凝らすのであつた。時に水野總兵衛忠重座を進んで申すやう、

「敵は四萬に餘る大軍おざるに、味方は僅に五千餘騎、一人十騎に當れば知らず、所詮懸合の軍することは叶ひ申すまい。總兵衛が考へにては先づ敵の先陣を遣り過し、中軍に控へたる總大將秀次の陣を襲ふに於ては、十に九つ勝利を得申すでおざらうと存ずる。此事何とおざる」

榊原康政は唯莞爾と笑つたばかりで、一言の意見も吐かなかつた。大須賀康高ははたと小膝を搦ち、

「流石は物馴れられた水野殿の御分別、我等も左樣存ずる。先づ小荷駄を追ひ散し、其本陣に雪崩かゝる時に乘じて、一齊に本陣に突き入るに於ては、縱令一萬の軍兵ありとも、突き崩さんないこと易うおぢやらう。各々の御思慮何とおざる」と、先じて其儀に同意した。城將本多廣孝のいふやう、

「彼の大軍を突き破る謀計、此上の良策はおじるまい。御猶豫せられず水野殿御意見の通り、御決定あつては如何おざるな」

この老功の一言に依つて、軍議は忽ち一決した。唯だ此上は敵の出陣を待つばかりである。即ち緩々人馬を休ませて、細作の蹴り報ずるのを今か／＼と待つてゐる。

京城本町三丁目(壽座南隣) 伊藤耳鼻咽喉科醫院 電話二二七七番 醫學士 伊藤應隆

間もなく一人の細作は歸つて來た。其言ふ所に據ると、先陣の出馬は、今宵亥の刻といふ觸れ出してあるといふ事であつた。其後に至つて、敵の先鋒は「只今瑞龍寺の陣を發して、南に向ひまいた」といふ確實な報に接した。

さらば進めと小幡城を發して、密かに敵の中軍の後を追ひ、敵に物色せられぬ丈の、一定の距離を取つて粛々として進軍し、途中岩崎の砲聲を聞きながら、巧みに接觸を保つたのであつた。

果せるかな秀次の中軍は崩れ立つた。突擊は三河武士が長技である。喊き喚んで突き崩すに、浮足立つた勢なれば、一支へも支へるものなく木の葉の如く亂れ散る。

□日曜日に虎耳庵を訪ひて　大塊

音づれて庵に匂ねるや五月雨るゝ

○病床日記の中より　仁川　丹葉

粥一合も啜り得る今日木の芽時

帆車鳴り鷗飛ぶ春の海暮るゝ

論客の氣焔燃ゆたる金魚かな

臥床後今日にて六十二日目

豫後の靜養も芍藥に狂ふ蝶

新刊紹介

▲女の世界(二の六) 一週年記念增刊號にして地方の女と命名す女の生活各方面より地方の人情風俗慣習思想氣質得失等に關し面白き研究を爲したるもの附錄として大正婦人錄あり(二十三錢東京市麴町區有樂町實業之世界社)

▲三體習字手紙の手ほどき 大町桂月撰王木愛石書にして初學者の日用の手紙文を學ばしむるの傍ら楷行草三體の文字を習はしむるを目的としたるものにして專ら平易と實用とを旨としたるの好著なり(三十五錢東京市神田區多町一請願堂發行)

▲朝鮮基督教時報(九) ペテロの失敗、山上の垂訓、詩四十六篇外の外京城基督教會の雜錄を載す(五錢京城古市町二二三其社)

▲仙臺伊達家御藏品入札目錄 定價不詳東京山形方藏

▲大阪仕入案内(五月號) 十錢大阪市西區阿波堀通四崎橋其社

▲病虫害雜誌(三の五) 二十錢東京市小石川區原町一二日本植物愛護會

▲正則中學講義錄(一の三) 會費一箇月五十錢東京神田區駿河臺袋町大日本國民中學會

▲月刊樂譜(五の五) 八錢東京市京橋區銀座四の四山野樂器店

▲流行(三の五) 十五錢東京日本橋區白木屋

▲英語の日本(四月號) 十二錢東京神田表神保町三建文館

▲石油時報(四四九) 十錢東京市麴町區有樂町一の一其社

▲陽明(五の四) 五錢大阪府天王寺二八六大阪陽明學會

▲共界新報(九の五) 二十錢東京市牛込區下宮比町六其社

▲日本鍼灸雜誌(五月號) 十錢大阪市西區江戸堀下通三の三十九大阪鍼灸會本部

▲養鷄と園藝(三の五) 十二錢大阪市東區高津北之町五八藝園

▲傀儡(二の五) 八錢東京市麴町區富士見町一の一三平安堂

▲木太刀(一四の五) 十八錢東京市牛込區築地町一二其社

▲養鷄指針(一五〇) 九錢大阪市南區生野國分町九二重枝養禽園

▲海友(七三) 十五錢大阪市寺內寺二大湖海務協會

商況

大阪株式特電

京阪電鐵 和歌山紡 合同紡績 鐘淵紡績 …

大阪三品

六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 …

大阪米穀

▲正米 …

江州特製 別仕立 蚊帳

養老號(黄)(極上麻、舶來更紗、本縫付) 五六(四疊)九圓四十錢 送料荷造費三十八錢 / 六八(六疊)十三圓四十錢 同上四十錢 / 八八(八疊)十五圓九十錢 同上四十六錢

卯の花號(黄)(上等麻、舶來更紗、平絎付) 五七(四疊)七圓五十錢 送料荷造費三十八錢 / 六八(六疊)九圓七十錢 同上四十二錢 / 七九(八疊)十一圓五十錢 同上四十二錢 / 八十(十疊)十三圓六十錢 同上四十六錢

沖風號(黄)(上等麻、更紗平絎付) 五七(四疊)五圓四十錢 送料荷造費三十八錢 / 六八(六疊)七圓 同上四十二錢 / 七九(八疊)八圓五十錢 同上四十二錢 / 八十(十疊)十圓 同上四十六錢

濱風號(黄)(別織綿麻上等紗平絎付) 五七(四疊)三圓三十錢 送料荷造費三十四錢 / 六八(六疊)四圓 同上三十八錢 / 七九(八疊)五圓 同上四十二錢 / 八十(十疊)六圓 同上四十六錢

濱浪號(綿上等紗平絎付) 五七(四疊)二圓四十錢 送料荷造費三十六錢 / 六八(六疊)二圓九十錢 同上四十錢 / 七九(八疊)三圓五十錢 同上四十二錢 / 八十(十疊)四圓四十錢 同上四十六錢

縫目なし(別織綿麻上等紗水色平絎付) 一號(三疊)七圓 送料荷造費三十四錢 / 二號(四疊)八圓五十錢 同上三十八錢 / 三號(六疊)十一圓 同上四十四錢 / 四號(八疊)十四圓四十錢 同上四十六錢

枕蚊帳(三四本繼目なし白紺水色) 一圓八十錢 送料內地八錢外三十錢 朝、支、の送料は內地の分に卅三錢

▲送料增率御注意 大阪毎日新聞社 大阪東區大川町 代理部 振替大阪八九四三番本五八

花柳病外科專門 ◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病 ◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病 ◎婦人病◎神經衰弱 ◎六〇六注射◎包皮其他手術 ◎入院隨意 診察無料 每日 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院

胃病良藥 太田胃散 ○飲過ぎ食過ぎに妙なり 定價十錢廿錢卅錢五十錢一圓 本舖東京兵町 太田信義藥房 ▲全國到る處の藥店に販賣す

こゑる藥 身體やせて種々療養効なくお困りの方 郵券三錢封入申込まば胃腸を健全にして害なく身體肥大さなる妙藥の說明書呈 ○東京市麻布區三河臺町 小川藥院

びせん 藝妓の芳香 びせん水 本家 大阪市西區新町通二丁目 田知本和三郎謹製 各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番

壽 飄水味淋 堺 鳳鳴釀

專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

滋腎 春田丸 陰萎病並に神經衰弱に大効あり 一週間分金七十五錢 三週間分金貳圓也 送料各二錢 岸田吟香 東京銀座 電話新橋六一番 振替口座四七七番

十字病院 龍山元町二丁目 梅毒淋病外科 皮膚病 眼科(入院隨意) 院主東京醫科大學專攻 望月憲麿 電話三一四番

日韓書房 新版報告 長篇講談 赤穗義士 定價三十錢 送料六錢 / 同 由井正雪 定價三十錢 送料六錢 / 同 伊達騷動 定價三十錢 送料六錢 / 同 天一坊 村井長庵 定價三十錢 送料六錢 / 同 佐倉宗五郎 文殊九郎 定價三十錢 送料六錢 京城本町二丁目 電話一四一五・二二七 振替朝鮮口座一五五

蚊帳 メリヤス 毛布 吳服店 京城本町 綿蒲團部 電話一〇九番

內科 小兒科 婦人科 花柳病 京城櫻井町一丁目(大正館南半丁) ツクシ 筑紫醫院 (入院隨時)

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四番 內科 小兒科 入院隨意 無料施療 每日五名を限り 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏

新荷着アンクル式片側側中時計 ニッケル側 同(男女) 銀側 金側 ニッケル鍍金時計 ラヂューム付 金メッキ(十年保証) … 十三形 九形 十七形 …
石は今回新着の商品にて本商會調り店に無き所のもの伏して懇ばくば急速に御注文に對しては代金引換御申越の御便宜に致し候 小包郵便にて地方御送付申上候
時計蓄音器、ミシン機械自轉車洋酒各國貴直輸入商 インググレッシー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料 京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他 油脂類、苛性曹達、洗曹達 京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 同 二九七三番 振替口座京城四〇〇番

比較は最良の撰擇法なり サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城五七番

資本金 貳千百五拾萬圓 積立金 九百參拾五萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番) 頭取 男爵 澁澤榮一 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

婦人科 產科 入院分娩應需 京城旭町一丁目 中央婦人病院 院主 衣笠茂 (電話一三四〇番)

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

金泉醴泉間自動車發着時間 上り 一番 二番 / 下り 一番 二番 … 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番 ▲小荷物運搬仕り候

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路(遠洋航路を除く)間郵船の時は五分引とし… 連絡切符發賣仕候

群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行 天草丸 五月十七日 午後五時出帆

油頭丸 五月二十日

安東丸 五月廿三日 後二時出

木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 五月十六日 後二時出 / 信濃川丸 五月十九日

鎮南浦、大連行 信濃川丸 六月十一日 後二時出 / 信濃川丸 五月廿四日

大連直行 福州丸 五月廿三日 正午出帆 / 潮州丸 五月 日

木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 須磨丸 五月 日 後二時出

群山、釜山、横濱行 福州丸 五月二十日 後二時出 / 潮州丸 五月廿九日

清津、浦潮行(元山出帆) 印八城津、西湖津、三寄港浦潮不寄港 宮島丸 五月十九日 後二時出 / 平安丸 五月廿五日

上海、基隆、打狗行(大連出帆) 城津丸 五月廿六日 後四時出 / 基隆丸 五月

○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り ○御乘船客は本船出帆約一時間前艀にて御送迎可致候

御注意 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話七〇番

▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割引門司より五割引を以て神戸商船切符發賣仕候 內國通運會社支店 京城切符發賣所

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行 相模丸 六月四日 正午出帆 / 高砂丸 六月十二日 正午出帆 / 三河丸 五月廿三日 正午出帆

仁川海岸町 電話十二番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行 立神丸 五月廿三日 日後五時出帆

元山、清津、浦鹽行 立神丸 五月 日後十時出帆

門司、神戸、大阪行 小倉丸 五月 日後五時出帆

元山、城津、浦鹽行 小倉丸 五月十八日 後十時出帆

元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三平安丸 五月 日後六時出帆

門司、宇品、神戸、大阪行 第三平安丸 五月 日後六時出帆

住須奈、巖原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大正丸 五月 日後四時出帆 / 大有丸 五月 日後五時出帆 / 神代丸 五月十八日後五時出帆 / 秀吉丸 五月廿四日後五時出帆 / 君が代丸 五月 日後五時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 關東都督府命令船 第十共同丸 五月 日入港 五月 日前九時出港

朝鮮鐵道主要驛にて荷客荷物通し輸送取扱仕候 大連にては青島行定期船に積替依托直航船と同様運賃にて通し輸送取扱可仕候

○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸(元山出帆) 月 日前八時出

阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部 / 元山代理店 春日町 電話二四四七番 田口回漕部 / 京城取次店 南大門 電話二六八・二〇一七 河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社 京城南大門驛前 電話長一九五二番二三二番 鐵道合社及社外船と荷客運輸送の便あり詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御問合あれ 京城取次店 松原運送店(電話長二一七〇番)

○全羅丸 五月廿二日 釜山發 / ○京畿丸 五月 日 / ○黃海丸 五月十六日 / ○咸鏡丸 五月廿六日 (門司より釜山各港寄港雄基間航路)

○總城丸 五月 日 / ○昌平丸 五月廿二日 / ○鏡城丸 五月十七日 元山發 (元山より各港經由雄基行)

○忠清丸 五月十六日 / ○平壤丸 五月廿二日 元山發 (城津清津沿海航行復航釜山より門司又は長崎行)

○永興丸 每月廿八回 元山發 (北久味、五里浦行)

○盈德丸 五月 日 釜山發 (甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行)

○江陵丸 ○釜山丸 每日 浦項發 (長生浦方魚津寄港)

○三浦丸 五月十七日 釜山發 (長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港)

○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發 (各港經由馬山行)

○順天丸 三日目毎ニ 木浦發 (各港經由麗水行、麗水より各山行に接續)(三日目一回水浦行)

○慶興丸 五月 日 木浦發 (各港經由濟州島行西廻)

○公州丸 五月 日 木浦發 (南多島海列島行(月三回))

○公州丸 五月 日 木浦發 (各港經由濟州島行(東廻))

○宗信丸 五月 日 仁川發 (海州龍塘浦德洞又は白翎島行)

○江原丸 五月十八日 仁川發 (青島、大連、芝罘行)

○麗水丸 ○晉州丸 五月廿二日 五月十六日 仁川發 (各港經由木浦行)

○錦江丸 ○南陽丸 每日午前 仁川發 (江華島、喬桐島、海州行)

○平安丸 五月十六日 五月廿一日 群山發 若松發 (大黑山、木浦、門司、若松、門司、木浦、群山行 往航 復航)

●狂犬 京城苑南洞藤井某の飼犬は十二日附近の犬五頭に咬傷を負はせ…